
在日外国人のアルバイト実態調査

2020年5月 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム

- <調査目的> 在日外国人の日本でのアルバイトに対する実態・意識を明らかにする
- <調査地域> 全国
- <調査方法> インターネット調査
- <対象者> 現在日本でアルバイトをしている在日外国人 年齢：16歳以上
- <回答数> 300サンプル
- <実施期間> 2020年3月26日（木）～4月3日（金）
- <実施機関> 株式会社マクロミル

※調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

■本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム

E-mail : myArm@mynavi.jp

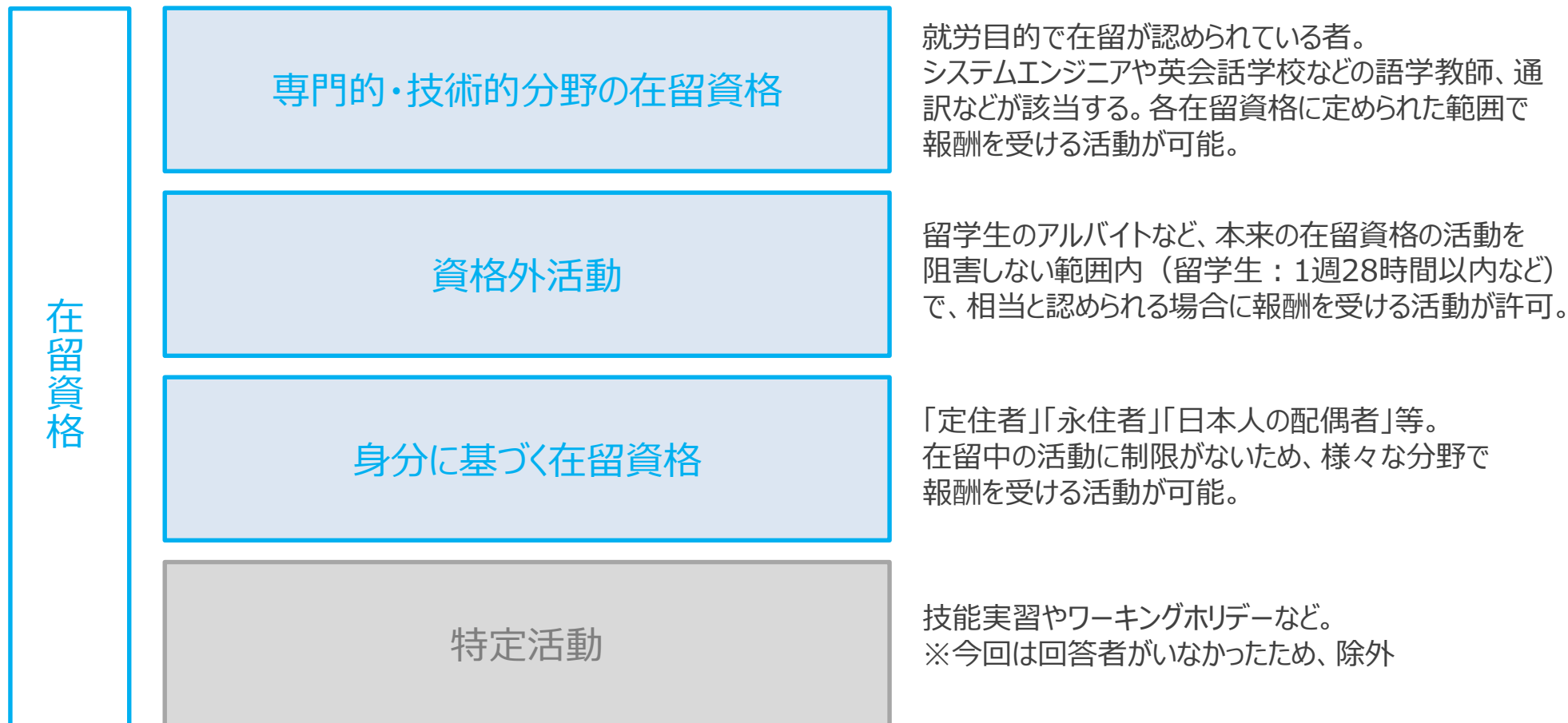
◆調査概要	P2-4
◆TOPICS	P5-7
◆サマリー	P8-12
◆データ編	P13-47
1.回答者プロフィール (国籍/年齢/性別/日本語能力/在日期间)	P14-19
2.アルバイト就労実態 (職種/勤務日数/勤務時間/収入/働きやすさ/働きやすさの理由/離職検討有無/離職を検討した理由)	P20-29
3.アルバイト就労意識 (アルバイトの目的/やりがい/理想の上司像/母国との違い/日本で働いてみて必要と感じた改善点)	P30-35
4.アルバイト探し (利用媒体/魅力に感じる条件/大変だったこと/アルバイトを始める前に不安だったこと)	P36-40
5.その他 (オリンピック関連のアルバイト実施状況と意向/オリンピック関連のアルバイトでの希望職種/ 特定技能認知と意向/特定技能を取得しない理由)	P41-47

調査概要

調査手法	インターネット調査（スクリーニング調査＋本調査）
対象者条件	現在日本でアルバイトをしている在日外国人 年齢16歳以上
エリア	全国
回答数	300サンプル
設問ボリューム	本調査：25問

本調査は現在アルバイトをしている在日外国人を調査対象としている。

集計については厚生労働省「我が国で就労する外国人の категория」をもとに、以下の4カテゴリのうち、回答のあった「専門的・技術的分野の在留資格」「資格外活動」「身分に基づく在留資格」の3カテゴリでまとめ、集計することとする



TOPICS

在日外国人のアルバイト意識

アルバイトの主な目的は生活費等の収入。収入面以外では日本の文化・言葉を学ぶことも目的としている。9割以上が現在のアルバイト先は「働きやすい」としつつも、“挨拶・マナー・時間・上下関係の厳しさ”といった日本特有の文化に母国との違いを感じている様子。また、「勤務時間の長さ」や「異文化理解」「昇給・昇格スピード」については改善が必要と感じている。

- アルバイトの主な目的は「自分の生活費のため」。収入面以外では「日本語の勉強」「異文化理解」といった日本の文化や言葉を学ぶことも目的としている
- 現在の職場について「働きやすい/どちらかといえば働きやすい」と感じる割合は9割以上
働きやすいと感じる理由は「希望どおりの勤務時間で働けること」「異文化への理解があること」「日本語を学べる環境があること」
- やりがいを感じるときは「給与をもらったとき」「給与があがったとき」「上司や仲間から褒められたとき」がTOP3で日本人とは異なる傾向
- 日本で働いてみて感じた違いは「挨拶・マナーが厳しい」「時間に厳しい」「上下関係が厳しい」がTOP3。日本人特有の文化に、母国との違いを感じている様子が伺える
- 日本で働いてみて必要と感じた改善点は「勤務時間の長さ」「異文化への理解」「昇給・昇格のスピード」
在日外国人は“日本特有の雇用のあり方”と“異文化への理解”の改善を必要と感じていると考えられる

在日外国人アルバイトの仕事さがし

アルバイト探し時の利用媒体は「インターネットの求人サイト」「求人アプリ」「友人・知人・家族からの紹介」。

「外国人歓迎」や「職場の人間関係がよいこと」に魅力を感じる人が多いが、最も魅力に感じることは「給与が高いこと」である。

日本でのアルバイト探しでは「外国人が勤務可能な求人が少ない」「求められる日本語レベルが高い」「日本語での書類の準備」など言葉の壁や、日本の受け入れ態勢の不十分さに苦労している様子

- アルバイト探しの際に利用する媒体は「インターネットの求人サイト」「求人アプリ」「友人・知人・家族からの紹介」
- アルバイト探しをする際に魅力を感じる条件は「外国人を歓迎していること」「職場の人間関係が良いこと」「自宅から近いこと」。最も魅力を感じる条件は「給与が高いこと」「外国人を歓迎していること」「自宅から近いこと」の順にTOP3。「外国人歓迎」や「職場の人間関係が良いこと」も魅力だが、「給与が高い」ことの方が重要度は高いといえる。
- アルバイト探しの際に大変だったことは「外国人が勤務可能な求人が少ない/又は限られている」「求められる日本語レベルが高すぎる」「日本語での履歴書等、書類の準備」

オリンピック・特定技能関連

全体の7割以上が「（今はしていないが、）今後オリンピック関連のアルバイトをしたいと思う」と回答。

人気の業種は「宿泊」「観光ガイド」「製造」

特定技能の認知は全体の6割弱。そのうち、特定技能を取得したいと考えている人は5割弱。全体の3割弱が「特定技能を知っていて、取得したい」としながらも、「求められる日本語レベルの高さ」や「手続きの複雑さ」から実際の取得には至っていない。

- 「オリンピックに関わるアルバイトをしている」割合は6.0%、「今はしていないが今後やりたいと思う」割合73.7%

オリンピックに関わるアルバイトの希望職種は「宿泊」「観光ガイド」「製造」の順にTOP 3

- 特定技能を知っている割合は58.0%、そのうち「取得したい」割合は48.3%

特定技能を取得したいが、実際取得していない理由は「求められる日本語レベルが高いから」「手続きが複雑だから」「業種が限られているから」。

1. サマリー編

在日外国人アルバイト就労実態

在日期間の平均は4.5年、1週間あたりの平均的な勤務日数は3.7日、
1日あたりの平均的な勤務時間は4.1時間、月収は6.5万円（中央値）

		在日期間	勤務日数 (1週間あたりの平均値)	勤務時間 (1日あたりの平均値)	月収 (中央値※)
TOTAL		4.5年	3.7日	4.1時間	6.5万円
在留資格	専門的・ 技術的分野	4.4年	4.1日	3.8時間	8.0万円
	資格外活動	2.8年	3.5日	4.1時間	6.0万円
	身分に基づく 在留資格	13.6年	3.4日	4.9時間	7.4万円

※中央値＝代表値の一つ、データを小さい順に並べたとき中央に位置する値

在日外国人アルバイト意識

アルバイトの目的は主に収入のため。収入以外では“日本語を学ぶため”“異文化理解のため”など日本の言葉や文化を学ぶことを目的としている。現在のアルバイト先は9割以上が「働きやすい」としつつも、挨拶・マナー/時間/上下関係など日本特有の文化には違いを感じている様子。また“勤務時間の長さ”“異文化への理解”“昇格・昇給スピード”など日本の雇用のあり方については改善が必要であると感じている。

		目的	働きやすさ	感じた違い	必要と感じる改善点
TOTAL		自分の生活費	働きやすい・計 97.3%	挨拶・マナーが厳しい	勤務時間の長さ
		日本語を学ぶため		時間に厳しい	異文化への理解
		異文化理解のため		上下関係に厳しい	昇給・昇格のスピード
在留資格	専門的・技術的分野	将来のキャリアのため	働きやすい・計 96.8%	休みがとりにくい	指示の曖昧さ
		人との出会いが欲しい		時間に厳しい	評価の不明瞭さ
		自分の生活費のため		従業員がフレンドリー	異文化への理解
	資格外活動	自分の生活費	働きやすい・計 97.7%	挨拶・マナーが厳しい	勤務時間の長さ
		日本語を学ぶため		仕事に対する意識が高い	異文化への理解
		異文化理解のため		時間に厳しい	昇給・昇格のスピード
	身分に基づく在留資格	自分の生活費	働きやすい・計 97.1%	挨拶・マナーが厳しい	基本給
		家族の生活費		上下関係に厳しい	昇給・昇格のスピード
		貯金のため		休みがとりにくい/ キャリアパスが曖昧	異文化への理解/ 休みのとりやすさ

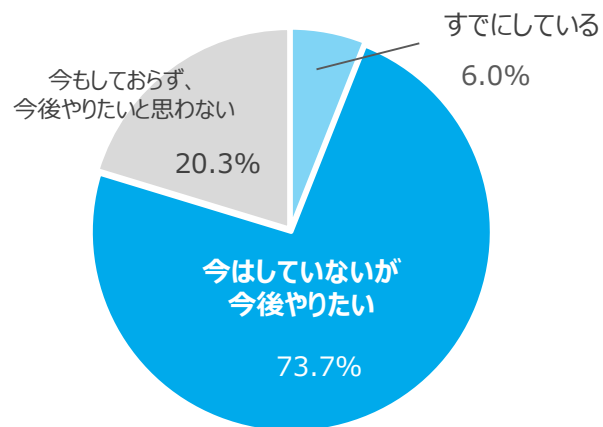
※TOTALより5pt以上高いものは濃グレーの白抜き

日本でのアルバイト探しで利用する媒体は“インターネットの求人サイト”“求人アプリ”“友人・知人・家族からの紹介”。外国人を歓迎していることに魅力を感じている。一方で、日本でのアルバイト探しでは“外国人が勤務可能な求人が少ない”“求められる日本語レベルが高すぎる”“日本語での履歴書等、書類の準備”など言葉の壁や受入れ体制の不十分さに苦労してる様子が見える。

	利用媒体			魅力に感じる点			大変だったこと		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
TOTAL	インターネットの求人サイト 79.0%	求人アプリ 53.7%	友人・知人・家族からの紹介 44.7%	外国人を歓迎している 45.0%	職場の人間関係が良いこと 37.0%	自宅から近いこと 29.7%	外国人が勤務可能な求人が少ない 35.0%	求められる日本語レベルが高すぎる 31.7%	日本語での履歴書等、書類の準備 30.0%
専門的・技術的分野の在留資格	インターネットの求人サイト 86.2%	求人アプリ 57.4%	SNS 40.4%	職場の人間関係が良いこと 33.0%	外国人を歓迎している 29.8%	希望どおりのシフト/まかない、社割、社員寮など 26.6%	面接時のマナー（5分前行動や、服装等） 36.2%	日本語での履歴書等、書類の準備 31.9%	求められる日本語レベルが高すぎる/外国人が勤務可能な求人が少ない 23.4%
資格外活動	インターネットの求人サイト 76.7%	求人アプリ 56.4%	友人・知人・家族からの紹介 52.9%	外国人を歓迎している 54.1%	職場の人間関係が良いこと 38.4%	自宅から近いこと 34.3%	外国人が勤務可能な求人が少ない 37.8%	求められる日本語レベルが高すぎる 36.6%	日本語での履歴書等、書類の準備 27.9%
身分に基づく在留資格	インターネットの求人サイト 70.6%	友人・知人・家族からの紹介 70.6%	SNS 32.4%	希望どおりのシフトで働ける 64.7%	給与が高い 55.9%	休暇がとりやすいこと 55.9%	外国人が勤務可能な求人が少ない 52.9%	日本語での履歴書等、書類の準備 35.3%	求められる日本語レベルが高すぎる 29.4%

全体の7割以上が「（今はしていないが、）今後オリンピック関連のアルバイトをしたいと思う」と回答。人気の業種は「宿泊」「観光ガイド」「製造」。特定技能の認知は全体の6割弱、そのうち特定技能を取得したいと考えている人は半数ほど。全体の3割弱が「特定技能を知っていて、取得したい」としながらも、「求められる日本語レベルの高さ」や「手続きの複雑さ」から実際の取得には至っていない。

オリンピックに関わるアルバイト



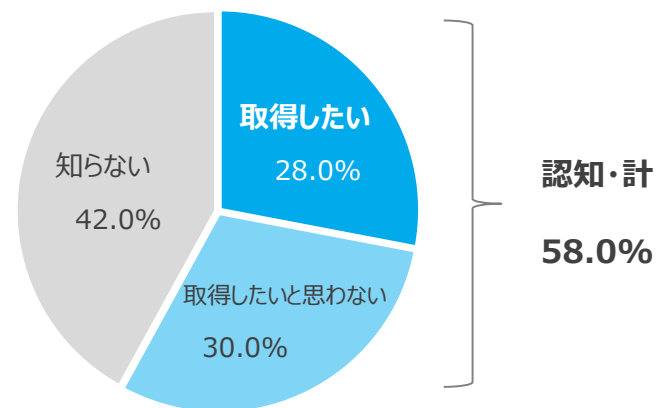
今後やりたいオリンピック関連の職種

宿泊 (32.1%)

観光ガイド (31.7%)

製造 (24.4%)

特定技能認知と意向



特定技能を取得したいが、出来ていない理由

求められる日本語レベルが高いから (57.1%)

手続きが複雑だから (48.8%)

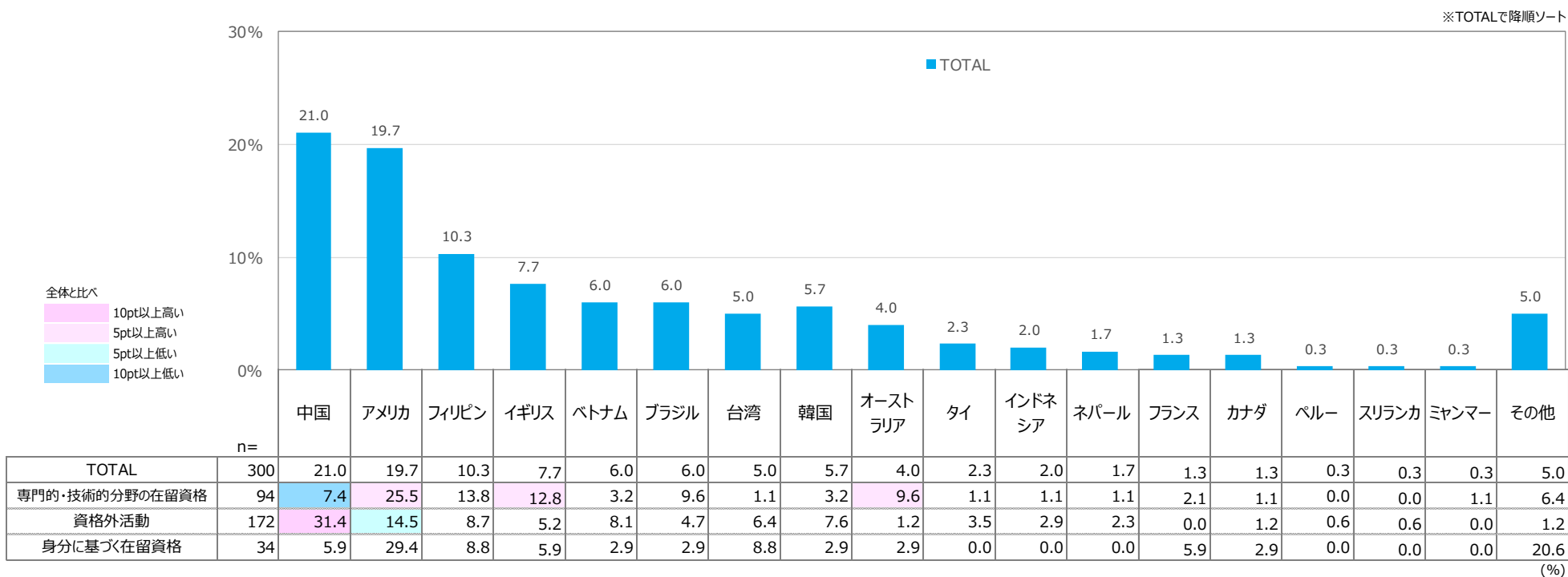
業種が限られているから (40.5%)

2. データ編

[データ編] 2-1
回答者プロフィール

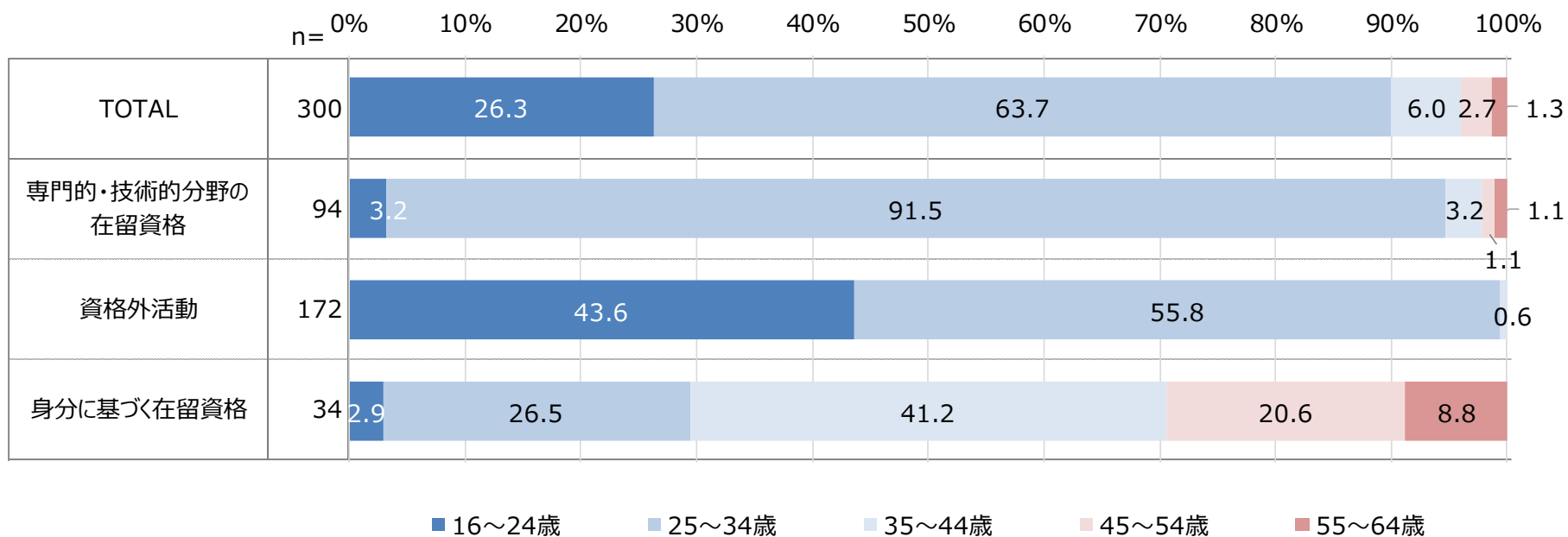
- ◆TOTALでは中国が21.0%、アメリカが19.7%、フィリピンが10.3%で上位
- ◆在留資格別でみると、【資格外活動】では中国が3割強と多く、それ以外でもアジア圏の国籍が多い

国籍（単一回答）



- ◆ TOTALでは25～34歳が最も多く63.7%、次いで16～24歳が26.3%、16～34歳で全体の9割を占めている
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】の25～34歳が9割と多い

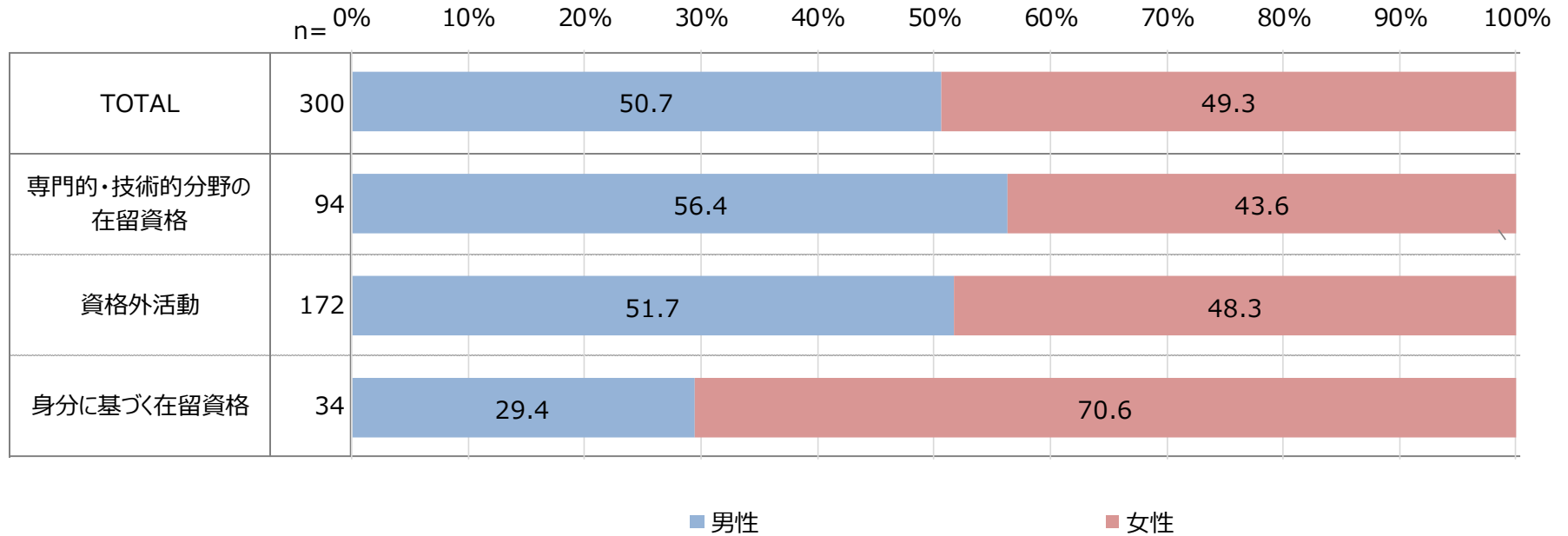
年齢（単一回答）



性別

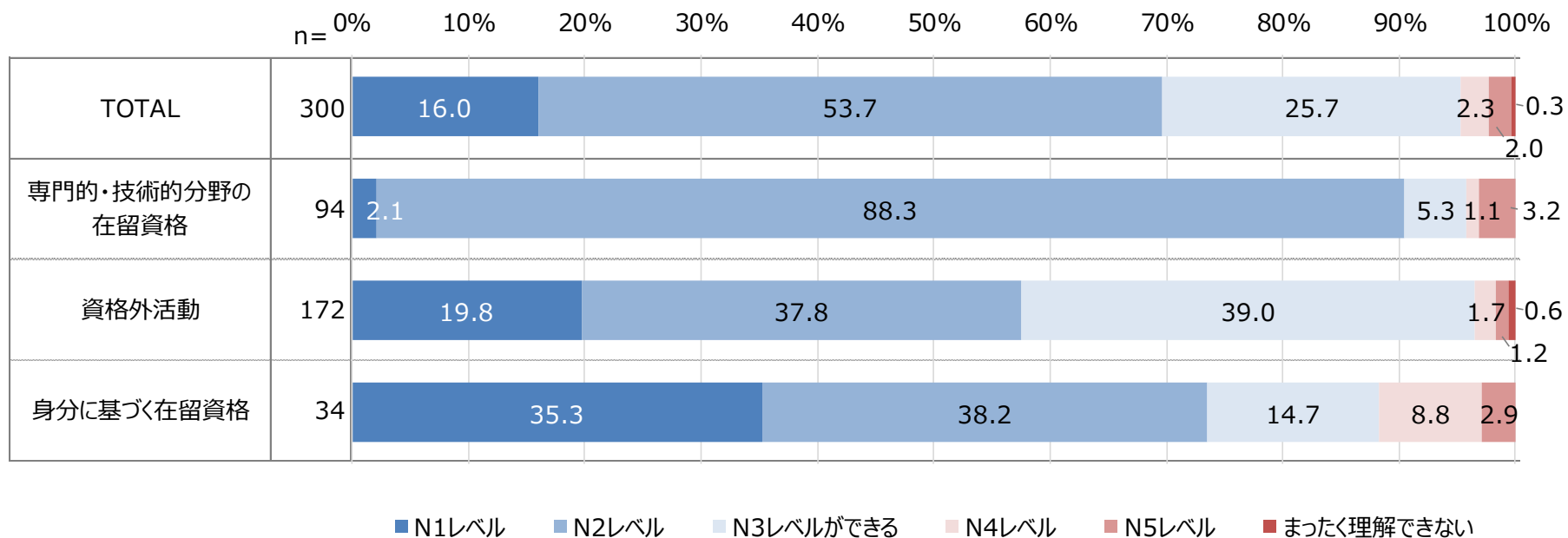
- ◆ TOTALでは男性が50.7%、女性が49.3%と男女比はほぼ半々となっている
- ◆ 在留資格別では【身分に基づく在留資格】の女性が約7割と多い

性別（単一回答）



- ◆ TOTALではN2レベル（日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる）が53.7%と最も多い
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】では「N2レベル以上」が9割と日本語能力が高い人が多い

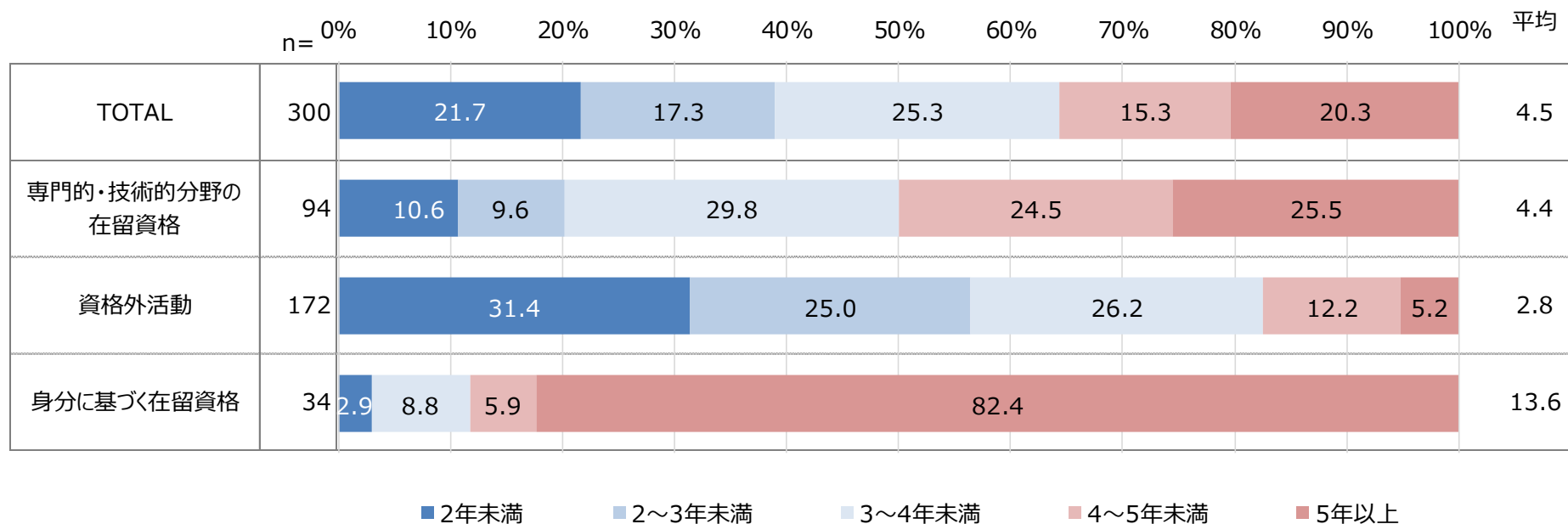
日本語能力（単一回答）



在日期間

- ◆ TOTALでは「3~4年未満」が最も多く25.3%、次いで「2年未満」が21.7%、「5年以上」が20.3%となっている
- ◆ 在留資格別では【資格外活動】で3年未満の割合が56.4%と高い
- ◆ 一方、【身分に基づく在留資格】では「5年以上」が82.4%と、在日期間が長い人が多い

在日期間（数値回答）

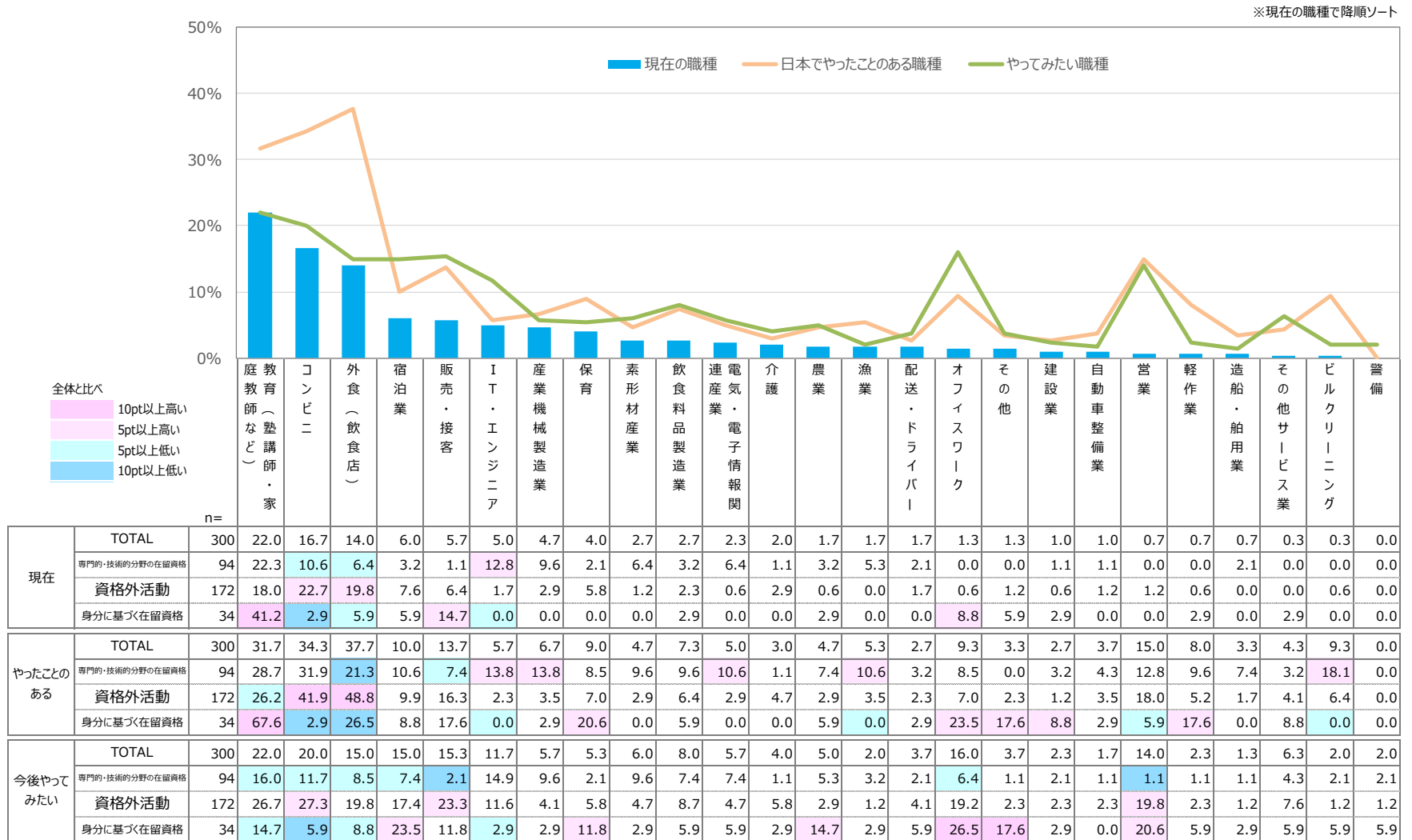


[データ編] 2-2
アルバイト就労実態

職種

- ◆ “現在の職種”についてTOTALでは「教育」が最も高く22.0%、次いで「コンビニ」が16.7%、「外食」が14.0%と続く
- ◆ “日本でやったことのある職種”についても“現在の職種”と同じ3職種がTOP3となっている
- ◆ “今後やってみたい職種”としては「オフィスワーク」や「営業」が高い点が特徴的

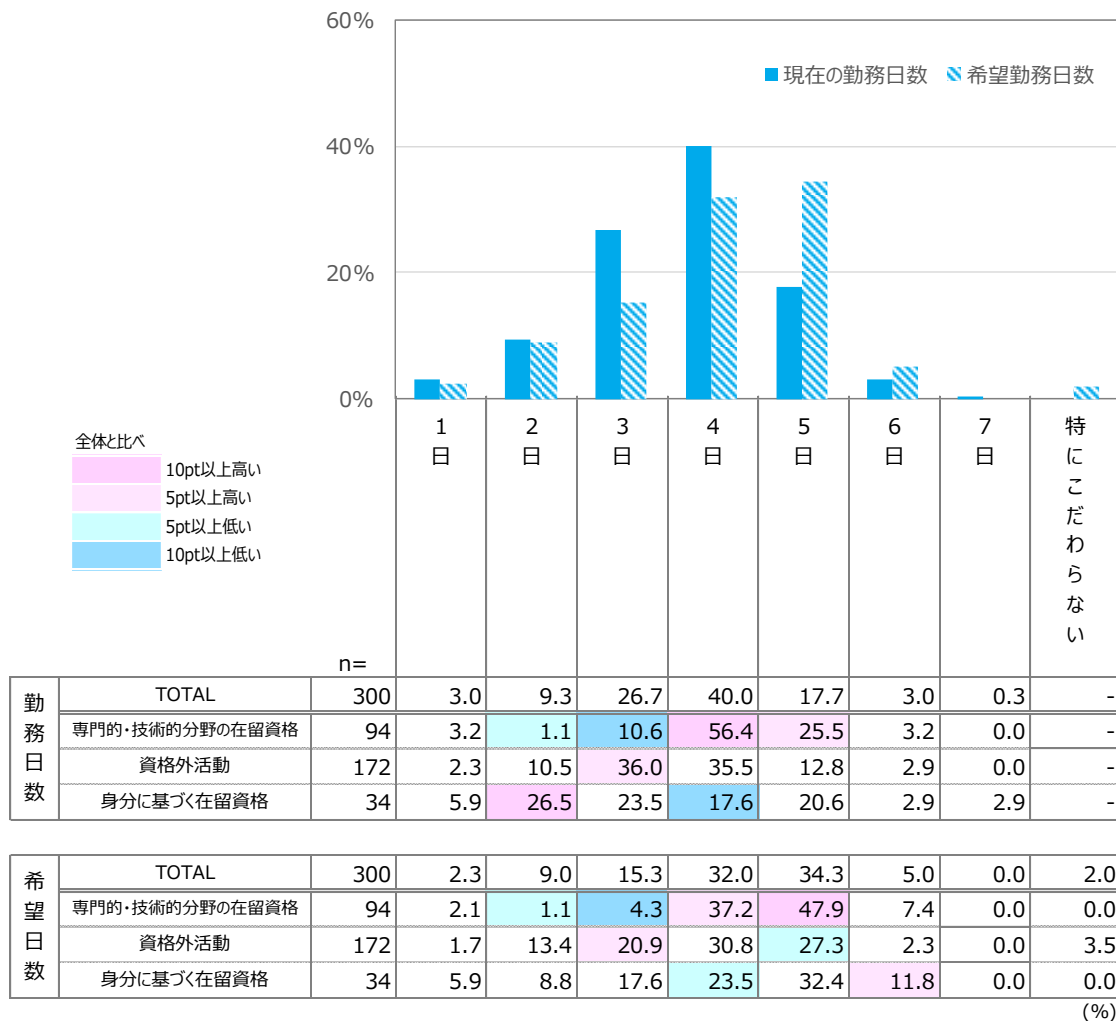
現在の職種（単一回答）/日本でやったことのある職種（複数回答）/今後やってみたい職種（複数回答）



勤務日数（現在⇔希望）

- ◆ “現在の勤務日数”についてTOTALでは「週4日」が最も多く40.0%、次いで「週3日」が26.7%、「週5日」が17.7%となっている
- ◆ “希望勤務日数”についてTOTALでは「週5日」が最も多く34.3%、次いで「週4日」が32.0%となっている

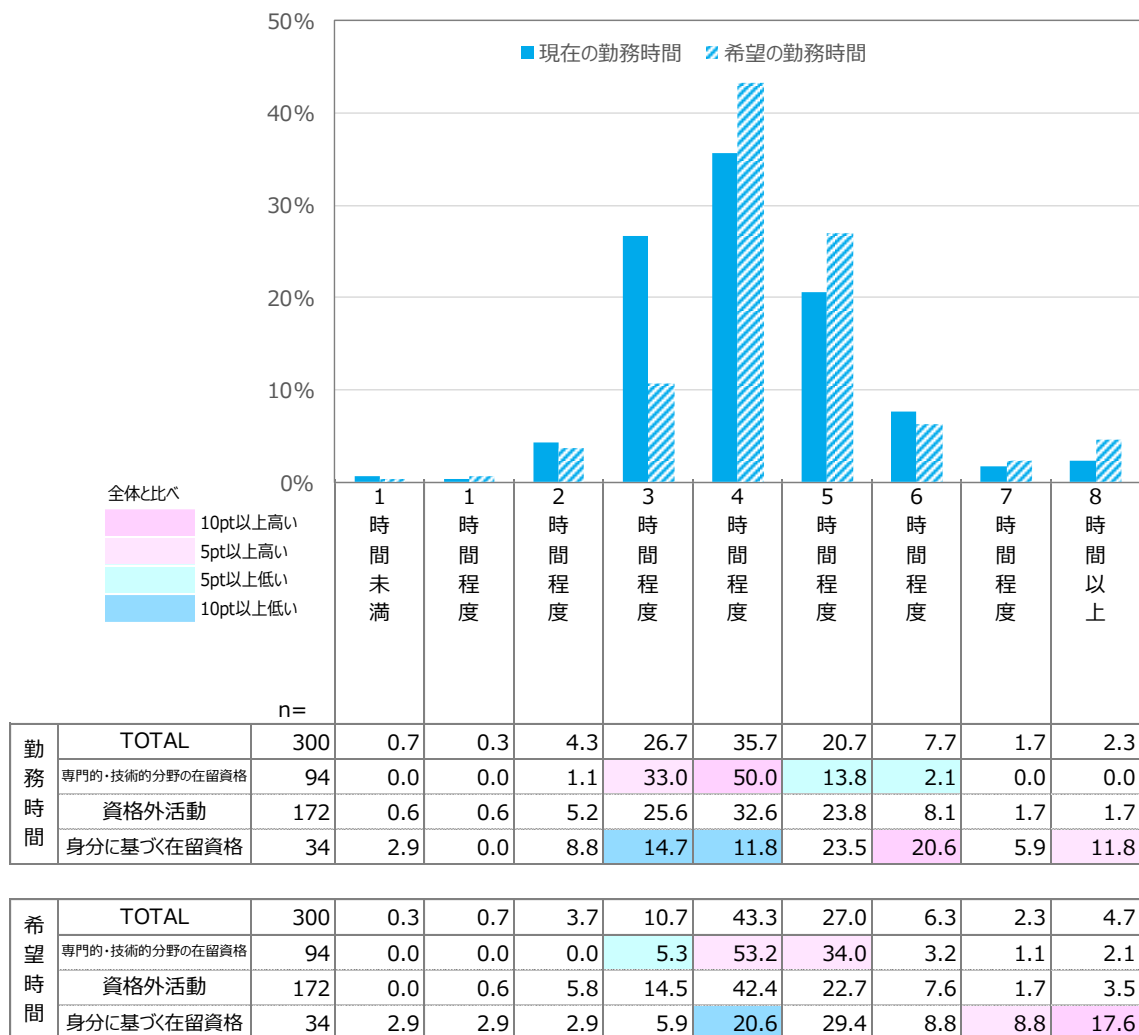
現在の勤務日数（単一回答）/本来希望している勤務日数（単一回答）



勤務時間（現在⇔希望）

- ◆ “現在の勤務時間”についてTOTALでは「4時間程度」が最も高く35.7%、次いで「3時間程度」が26.7%、「5時間程度」が20.7%となっている
- ◆ “希望勤務時間”についてTOTALでは「4時間程度」が最も高く43.3%、次いで「5時間程度」が27.0%、「3時間程度」が10.7%となっている
- ◆ 在留資格別では【身分に基づく在留資格】の“希望勤務時間”で「8時間以上」が17.6%と高い点特徴的

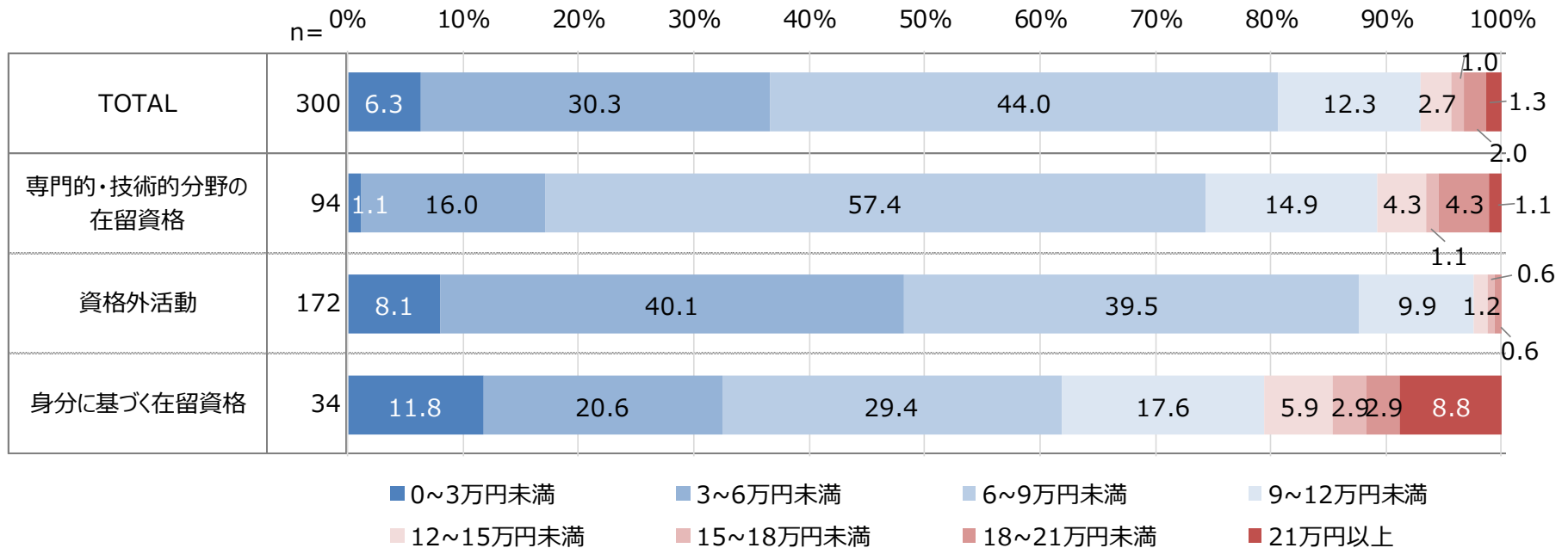
現在の勤務時間（単一回答）/本来希望している勤務時間（単一回答）



アルバイト収入

- ◆ TOTALでは「6~9万円未満」が44.0%と最も高く、「3~6万円未満」が30.3%、「9~12万円未満」が12.3%と続く
- ◆ 在留資格別では【資格外活動】で9万円未満の合計が9割近くになっている
- ◆ 一方、【身分に基づく在留資格】では12万円以上の合計が約2割となっている

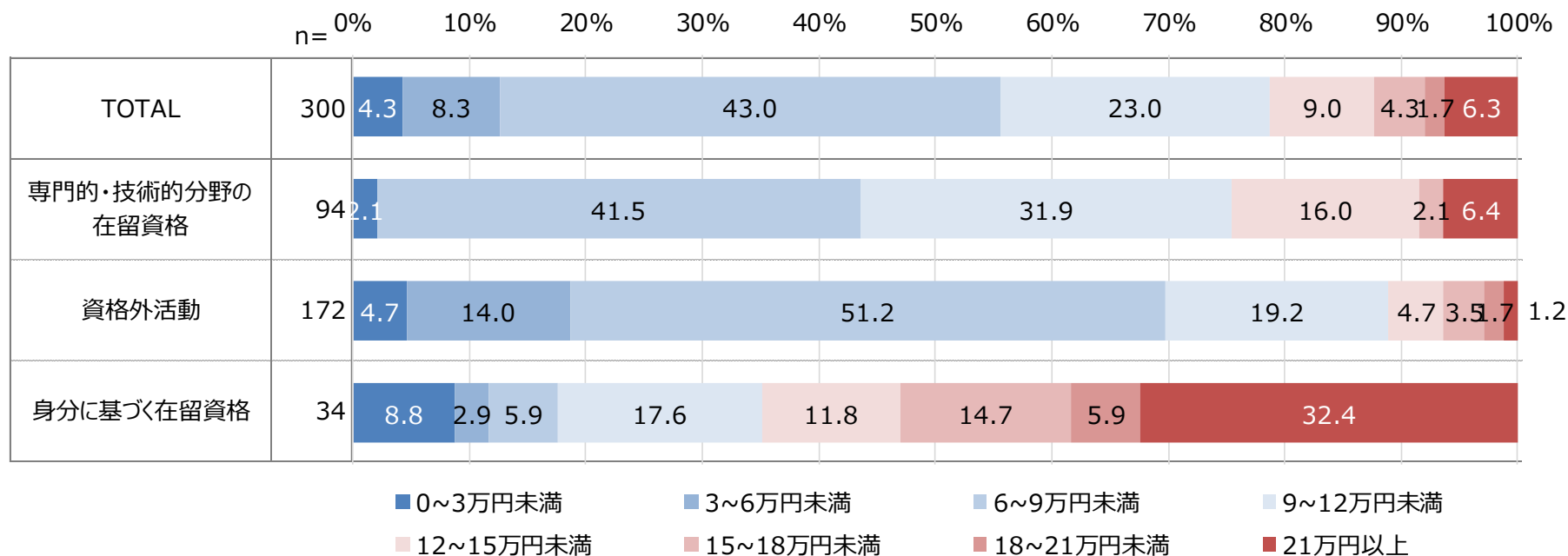
現在のアルバイト収入（数値回答）



希望するアルバイト収入

- ◆ TOTALでは「6~9万円未満」が43.0%と最も高く、「9~12万円未満」が23.0%、「12~15万円未満」が9.0%と続く
- ◆ 在留資格別では【資格外活動】で9万円未満の合計が約7割と高くなっている
- ◆ 一方、【身分に基づく在留資格】で15万円以上の合計が過半数となっており、在留資格ごとに差がある結果となっている

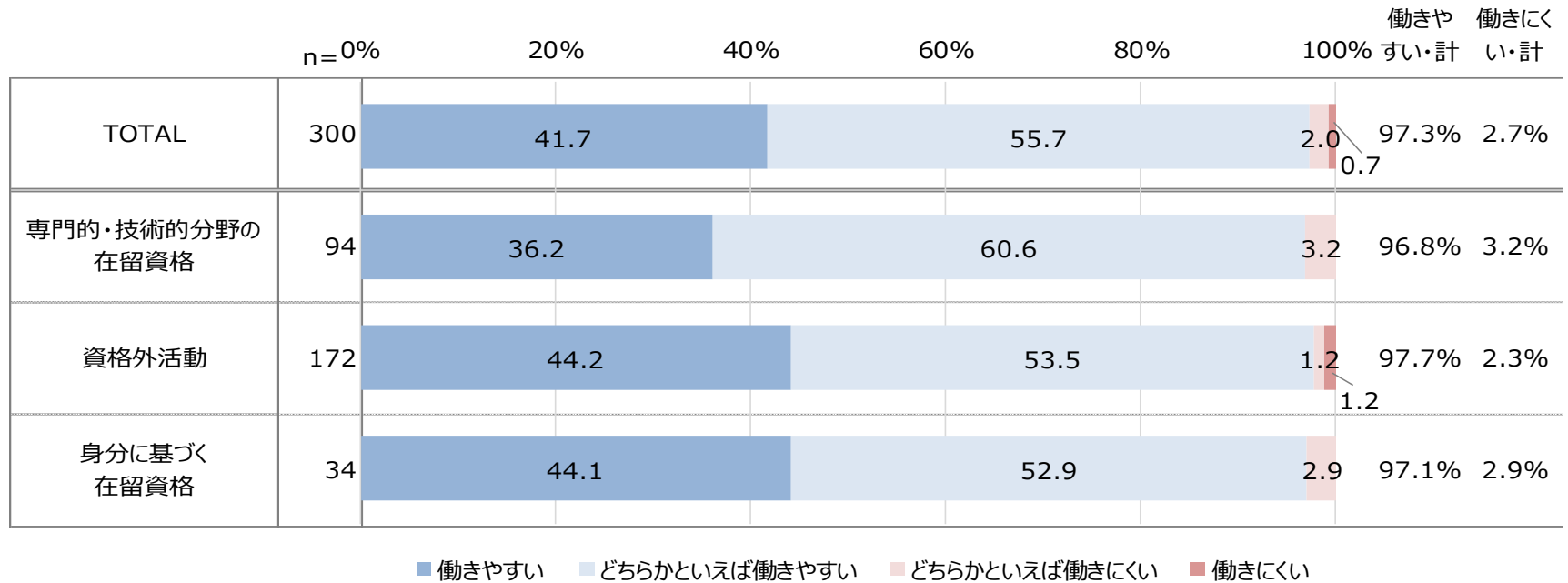
希望するアルバイト収入（数値回答）



アルバイト先の働きやすさ

- ◆ TOTALでは97.3%が「働きやすい/どちらかといえば働きやすい」と回答
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「働きやすい」が36.2%とTOTALと比べてやや低い

現在のアルバイト先の働きやすさ（単一回答）

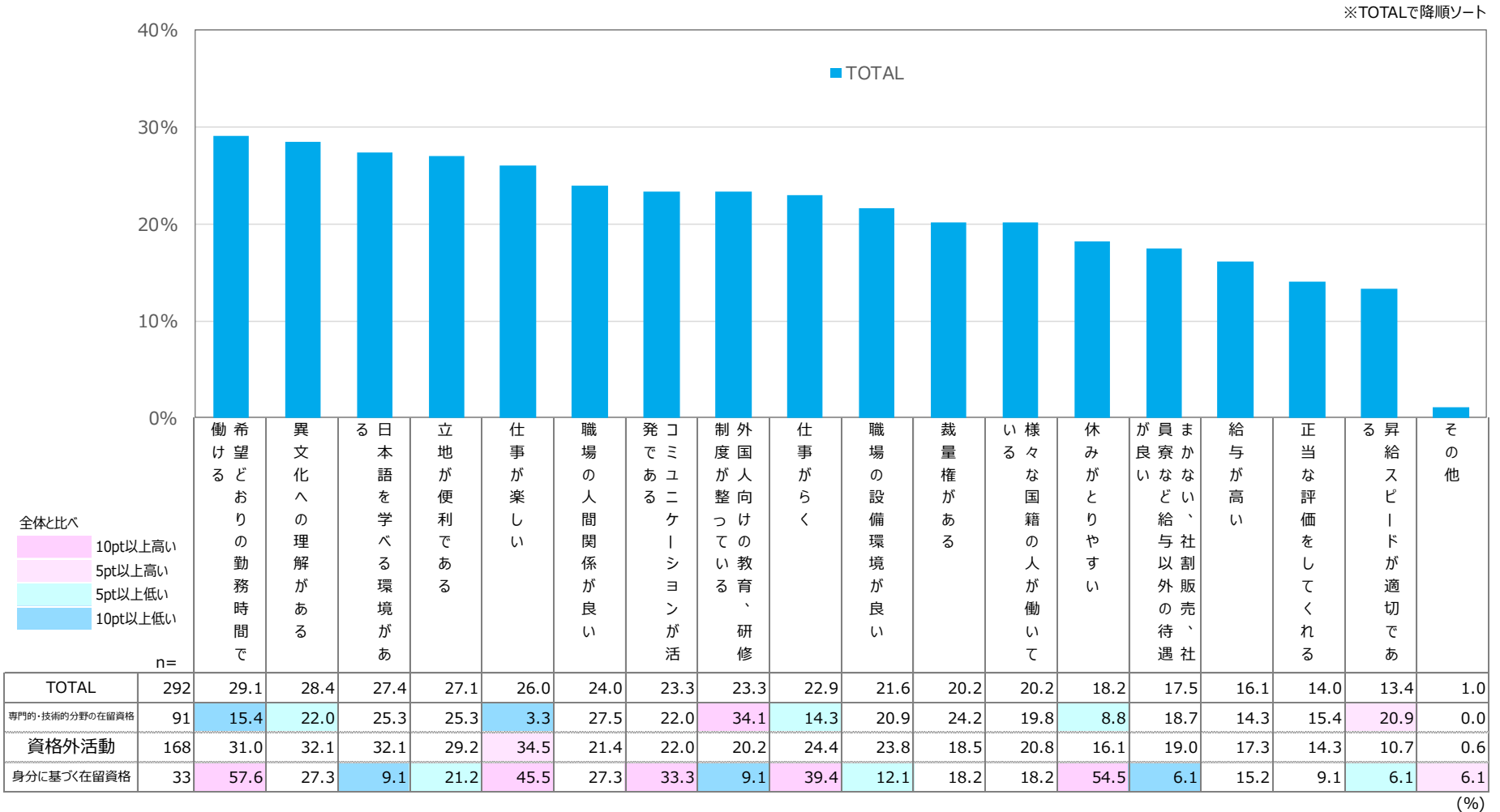


働きやすさの理由

- ◆ TOTALでは「希望どおりの勤務時間で働ける」が29.1%と最も高く、「異文化への理解がある」が28.4%、「日本語を学べる環境がある」が27.4%と続く
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「外国人向けの教育・研修制度が整っている」が、【身分に基づく在留資格】で「希望どおりの勤務時間で働ける」「仕事が楽しい」「コミュニケーションが活発」「仕事がらく」「休みがとりやすい」がそれぞれTOTALと比べて10pt以上高い

現在の職場が働きやすいと感じる理由（複数回答）

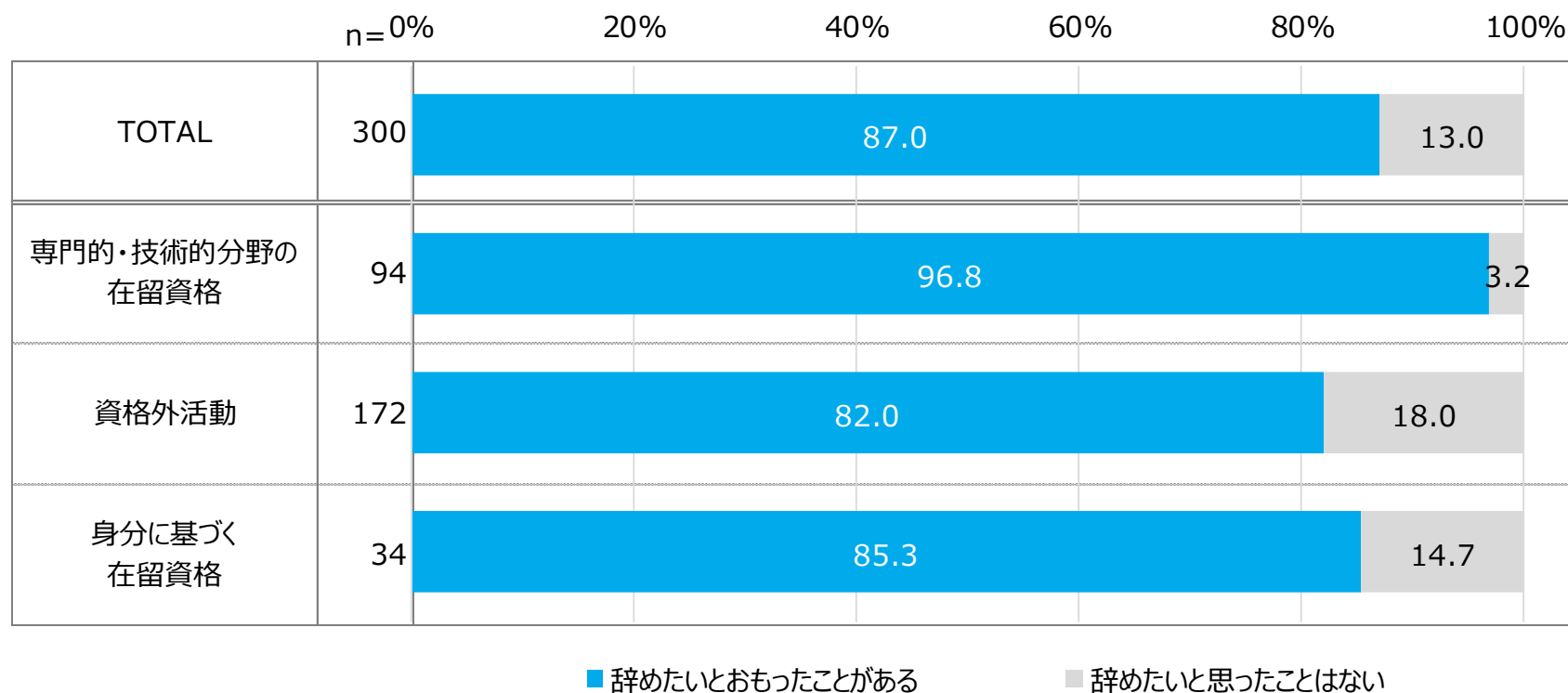
※ベース：現在の職場が「働きやすい」もしくは「どちらかと言えば働きやすい」と回答した人



辞めたいと思ったこと

- ◆ TOTALでは87.0%が「現在のアルバイト先を辞めたいと思ったことがある」と回答
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「現在のアルバイト先を辞めたいと思ったことがある」が96.8%と特に高い

現在のアルバイト先を辞めたいと思ったことはあるか（単一回答）

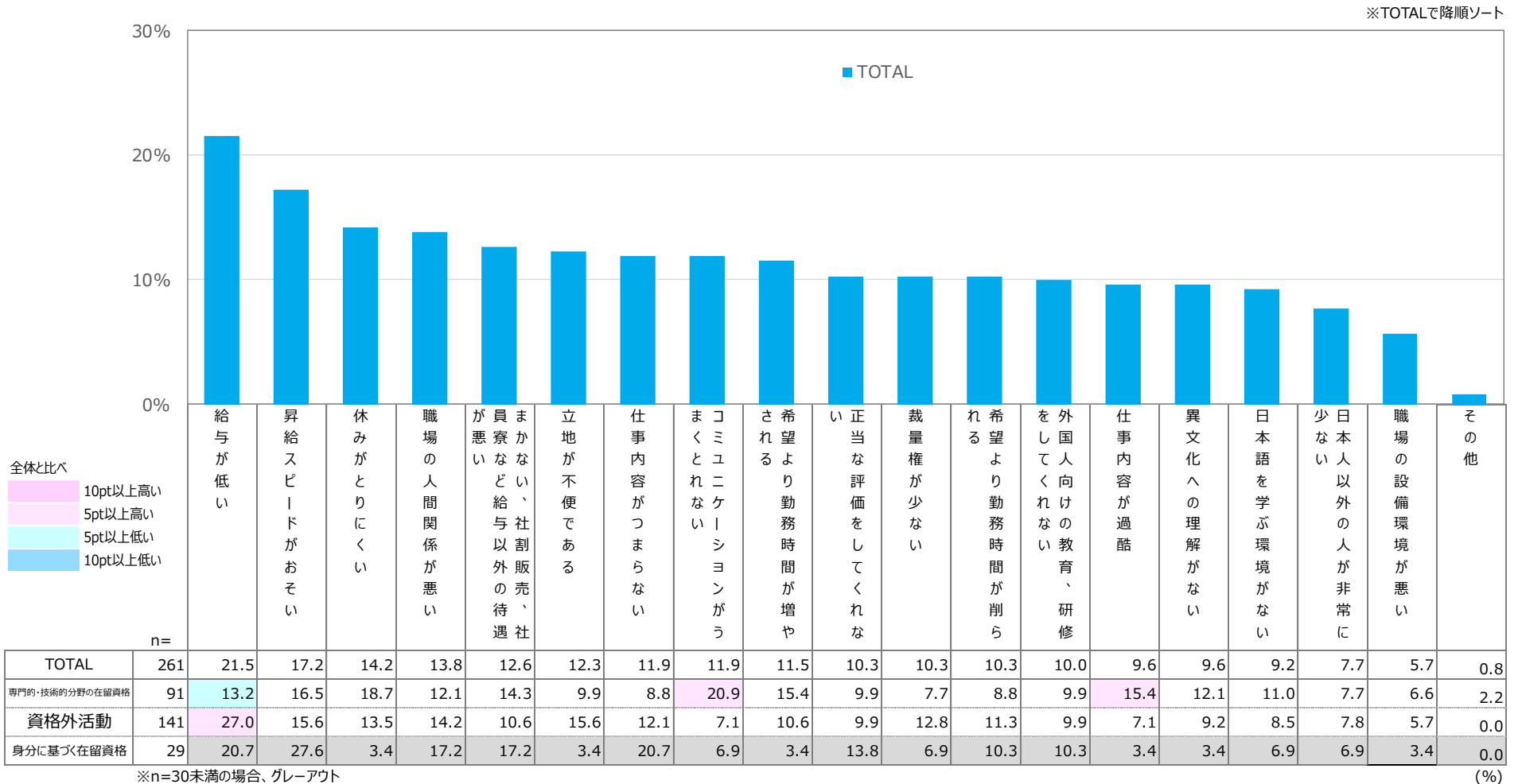


辞めたいと思った理由

- ◆ TOTALでは「給与が低い」が最も高く21.5%、「昇給スピードがおそい」が17.2%、「休みがとりにくい」が14.2%と続く
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「給与が低い」はTOTALと比べて低く、「コミュニケーションがうまくとれない」「仕事内容が過酷」はTOTALと比べて高い

現在のアルバイト先を辞めたいと思った理由（複数回答）

※ベース：「現在のアルバイト先を辞めたいと思ったことがある」と回答した人

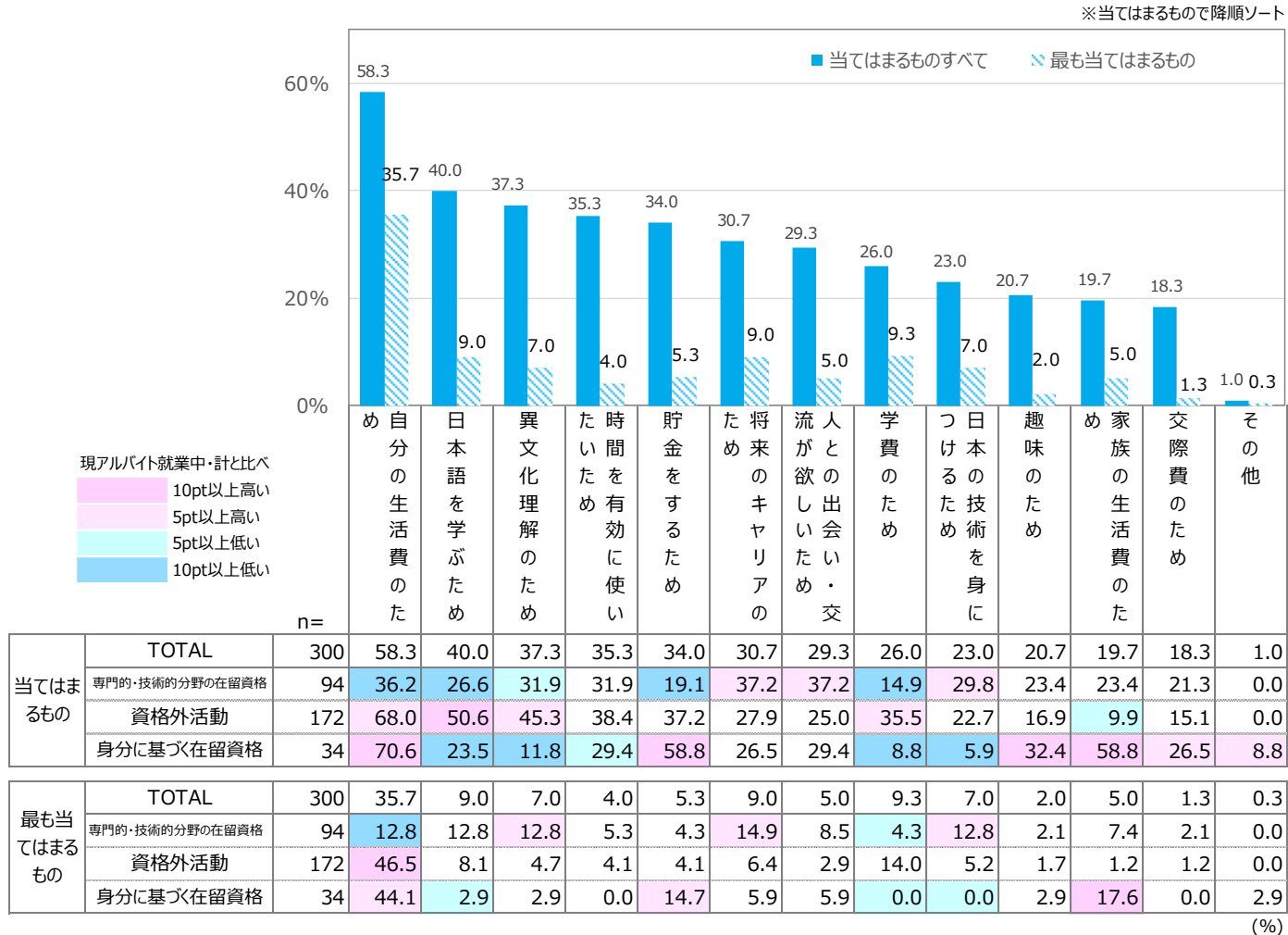


[データ編] 2 - 3
アルバイト就労意識

アルバイト就業の目的

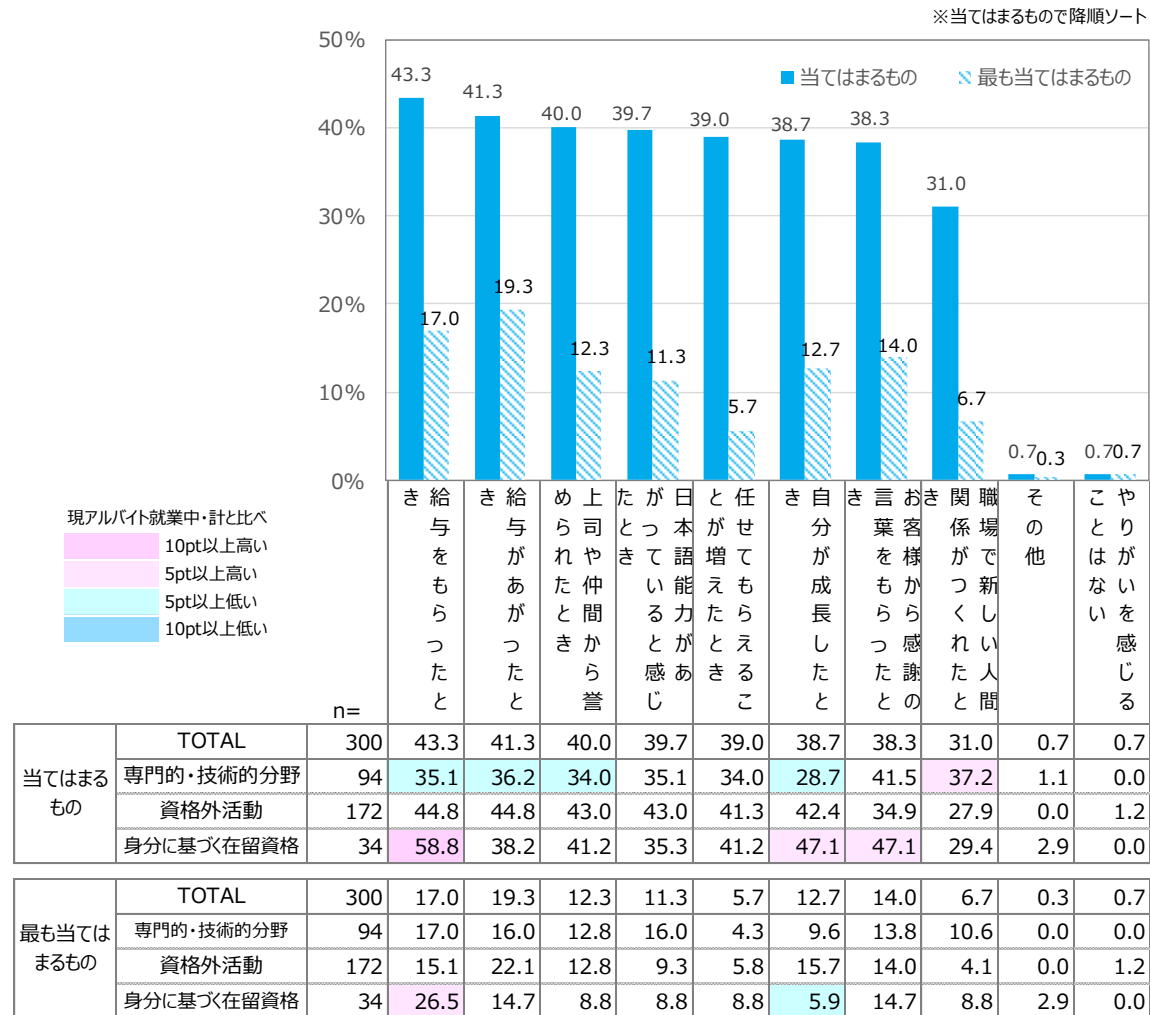
- ◆ TOTALでは「自分の生活費のため」が最も高く58.3%、次いで「日本語を学ぶため」が40.0%、「異文化理解のため」が37.3%となっている
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「人との出会い・交流が欲しいため」「将来のキャリアのため」などが高い点が特徴的
- ◆ 一方、【身分に基づく在留資格】では「自分の生活費のため」だけでなく「貯金をするため」「家族の生活費のため」など収入を目的とする回答が高い傾向

日本でアルバイトをしている目的（複数回答）/その中で最も当てはまるもの（単一回答）



◆ “当てはまるもの”についてTOTALでは「給与をもらったとき」が最も高く43.3%、次いで「給与があがったとき」が41.3%、「上司や仲間から誉められたとき」が40.0%となっている。その他、「日本語能力があがっていると感じたとき」(39.7%)、「任せてもらえることが増えたとき」(39.0%)、「自分が成長したとき」(38.7%)、「お客様から感謝の言葉をもらったとき」(38.3%)なども4割近い数字となっている

アルバイト先でやりがいを感じる時(複数回答)/その中で最もやりがいを感じる時(単一回答)

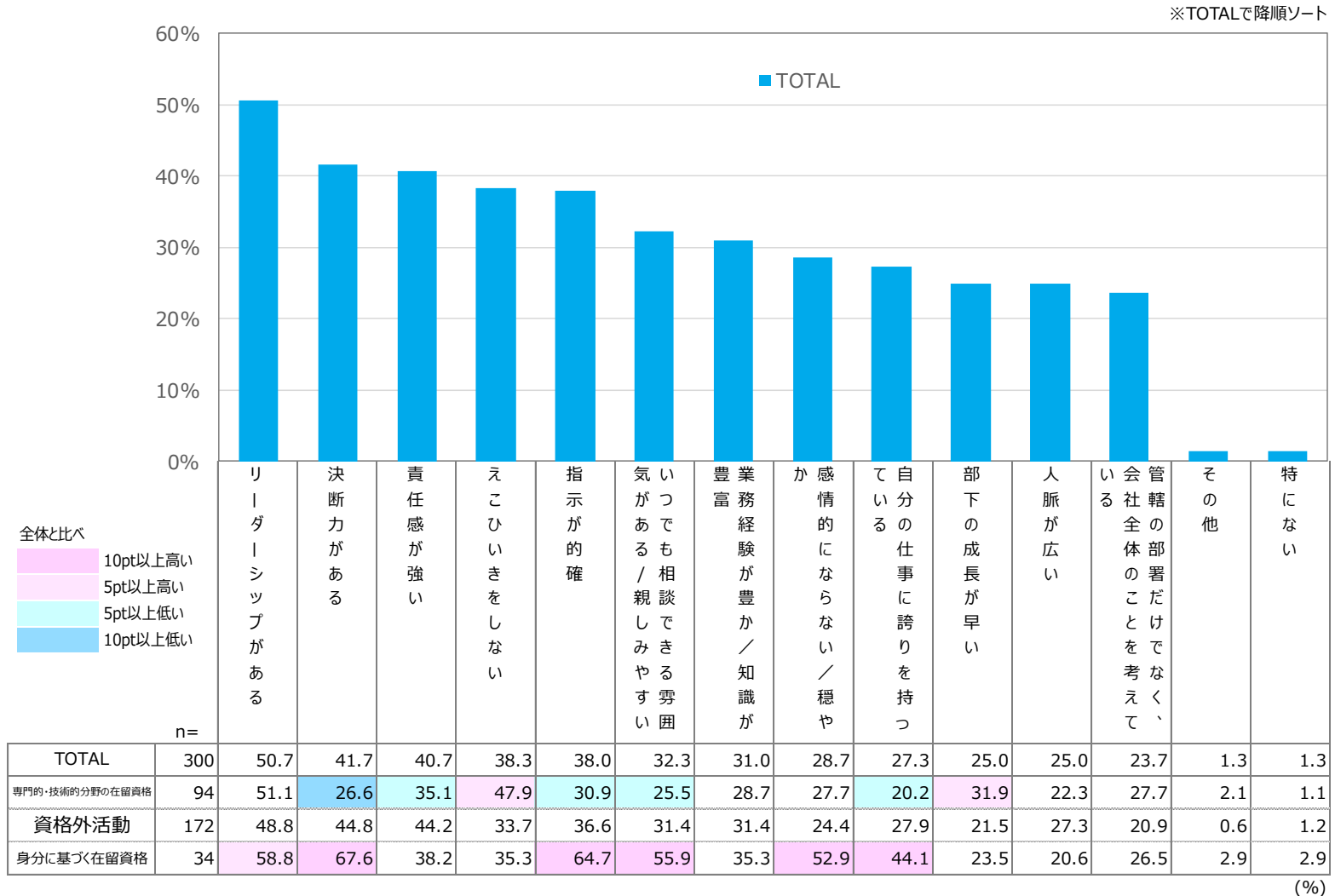


(%)

理想の上司像

- ◆ TOTALでは「リーダーシップがある」が最も高く50.7%、「決断力がある」が41.7%、「責任感が強い」が40.7%と続く
- ◆ 在留資格別では【身分に基づく在留資格】で「決断力がある」「指示が的確」「いつでも相談できる雰囲気がある/親しみやすい」「感情的にならない/穏やか」「自分の仕事に誇りを持っている」がTOTALと比べて10pt以上高くなっている

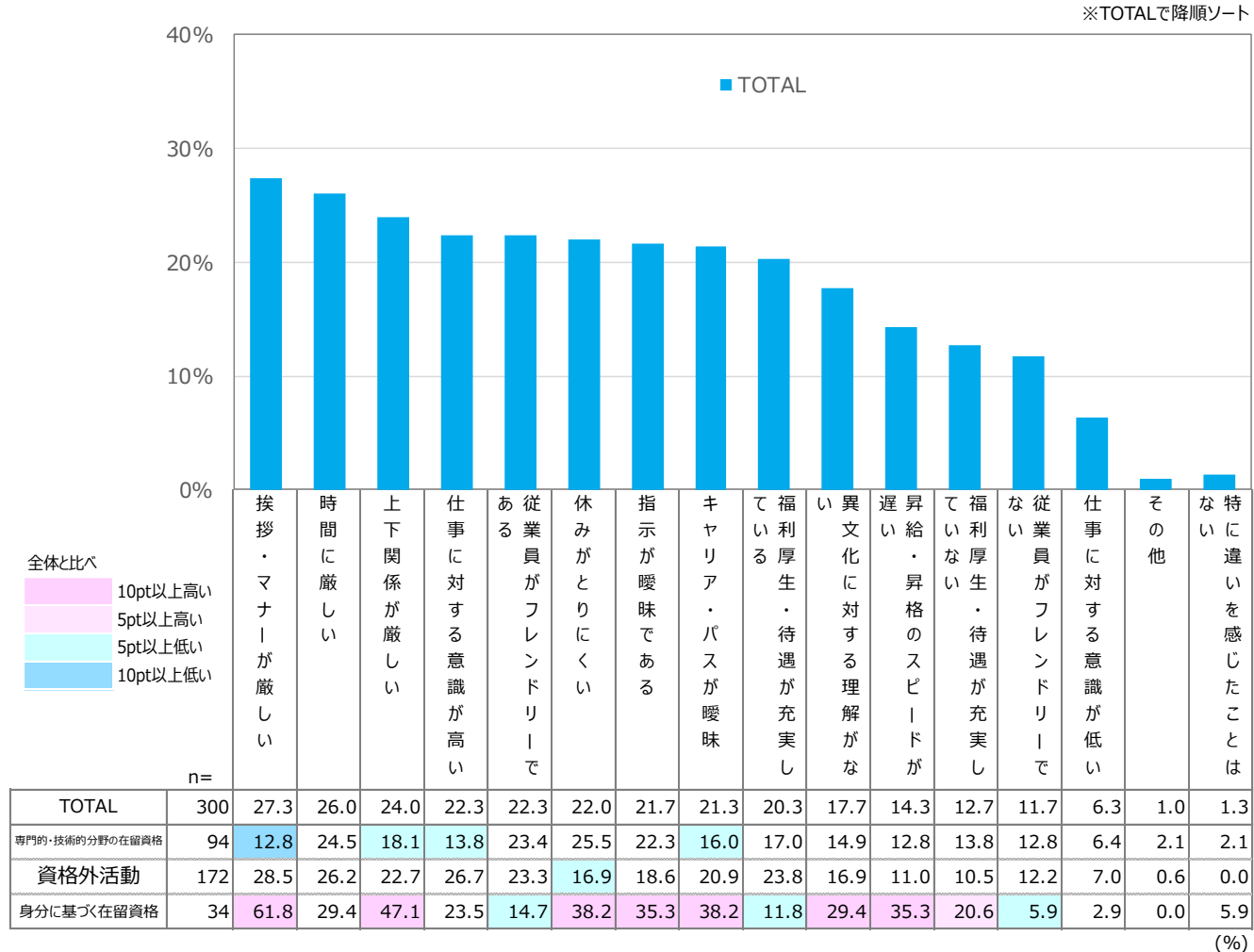
理想の上司像（複数回答）



日本で働いてみて感じた違い

- ◆ TOTALでは「挨拶・マナーが厳しい」が最も高く27.3%、「時間に厳しい」が26.0%、「上下関係が厳しい」が24.0%と続く
- ◆ 在留資格別では【身分に基づく在留資格】で「挨拶・マナーが厳しい」「上下関係が厳しい」「休みがとりにくい」「指示が曖昧」「キャリア・パスが曖昧」「異文化に対する理解がない」「昇給・昇格のスピードが遅い」などの項目でTOTALと比べて10pt以上高くなっている

日本で働いてみて感じた違い（複数回答）

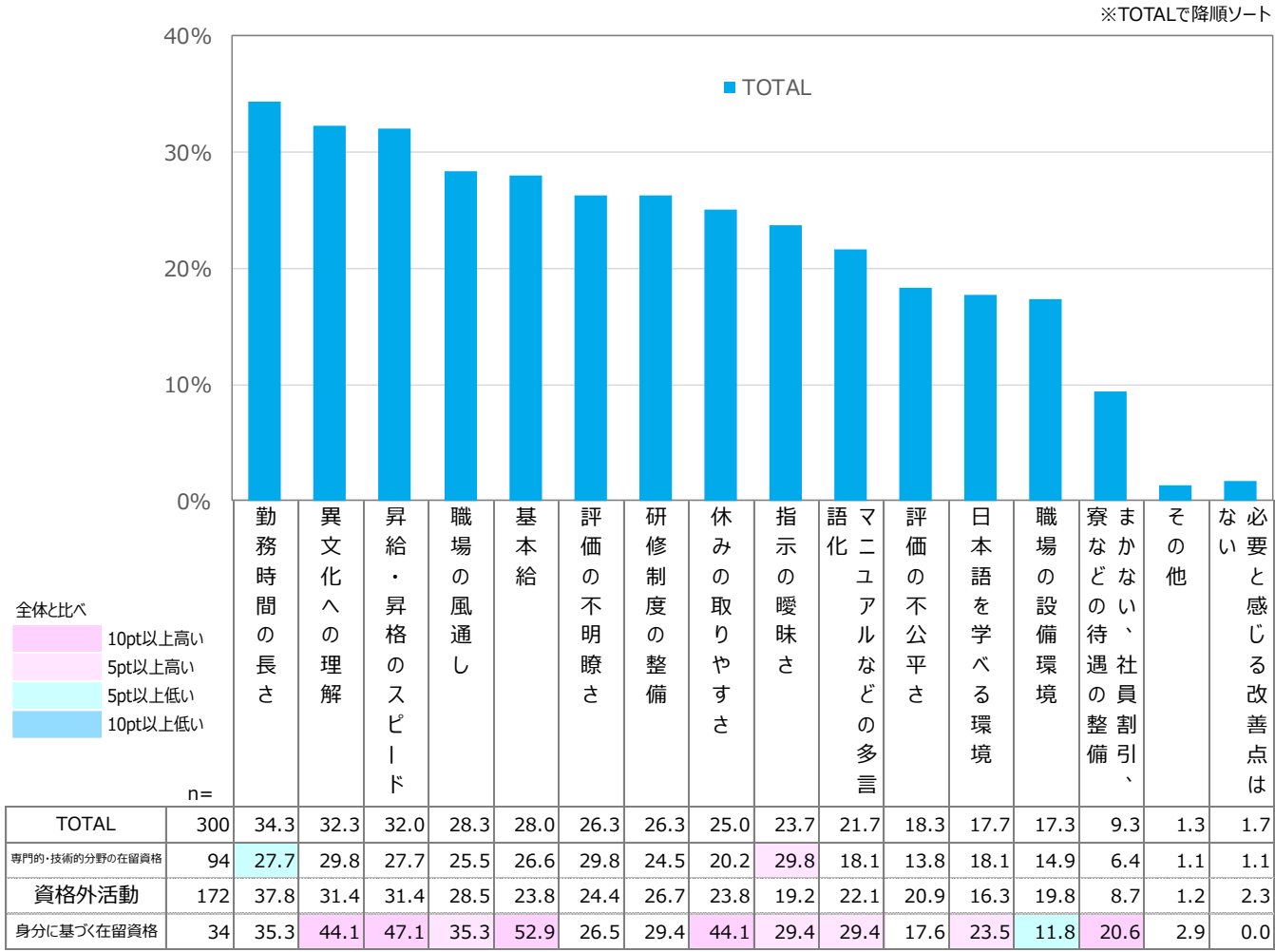


必要と感じる改善点



◆ TOTALでは「勤務時間の長さ」が最も高く34.3%、次いで「異文化への理解」が32.3%、「昇給・昇格のスピード」が32.0%となっている
 ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「指示の曖昧さ」がやや高く、【身分に基づく在留資格】で多くの項目がTOTALと比べて高い点が特徴的

日本で働いてみて必要と感じた改善点（複数回答）

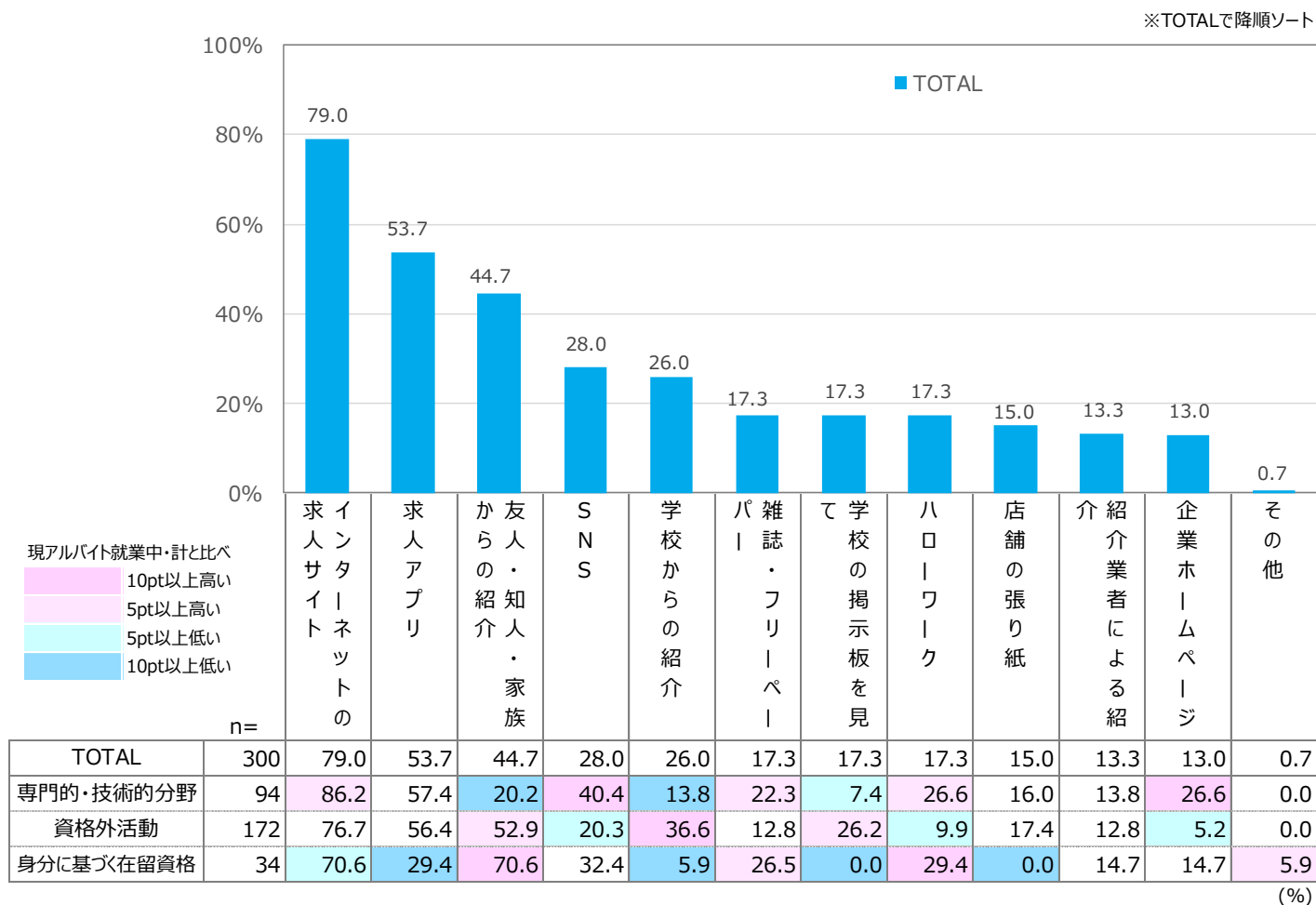


[データ編] 2 - 4
アルバイト探し

利用媒体

- ◆ TOTALでは「インターネットの求人サイト」が79.0%、「求人アプリ」が53.7%、「友人・知人・家族からの紹介」が44.7%と続く
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「SNS」「企業ホームページ」が、【資格外活動】で「学校からの紹介」が、【身分に基づく在留資格】で「友人・知人・家族からの紹介」「ハローワーク」がそれぞれTOTALより10pt以上高くなっている

日本でアルバイト探しをする際に利用したもの（複数回答）

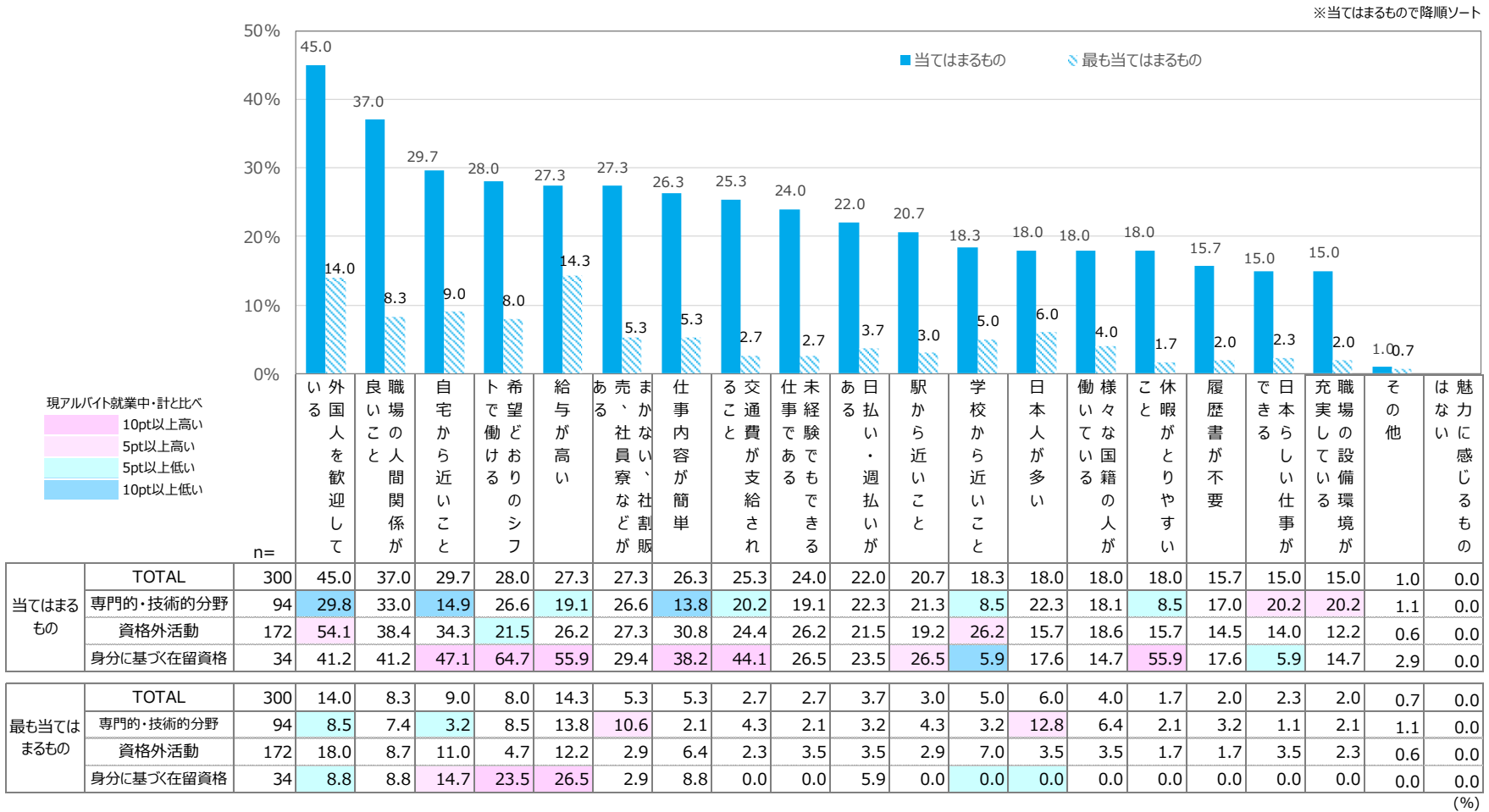


魅力を感じる条件



- ◆ TOTALでは「外国人を歓迎していること」が最も高く45.0%、次いで「職場の人間関係が良いこと」が37.0%、「自宅から近いこと」が29.7%となっている
- ◆ 在留資格別では【身分に基づく在留資格】で、回答割合の高い項目が多い点が特徴的
- ◆ また【資格外活動】では「学校から近いこと」が高く、学生が多いことがうかがえる

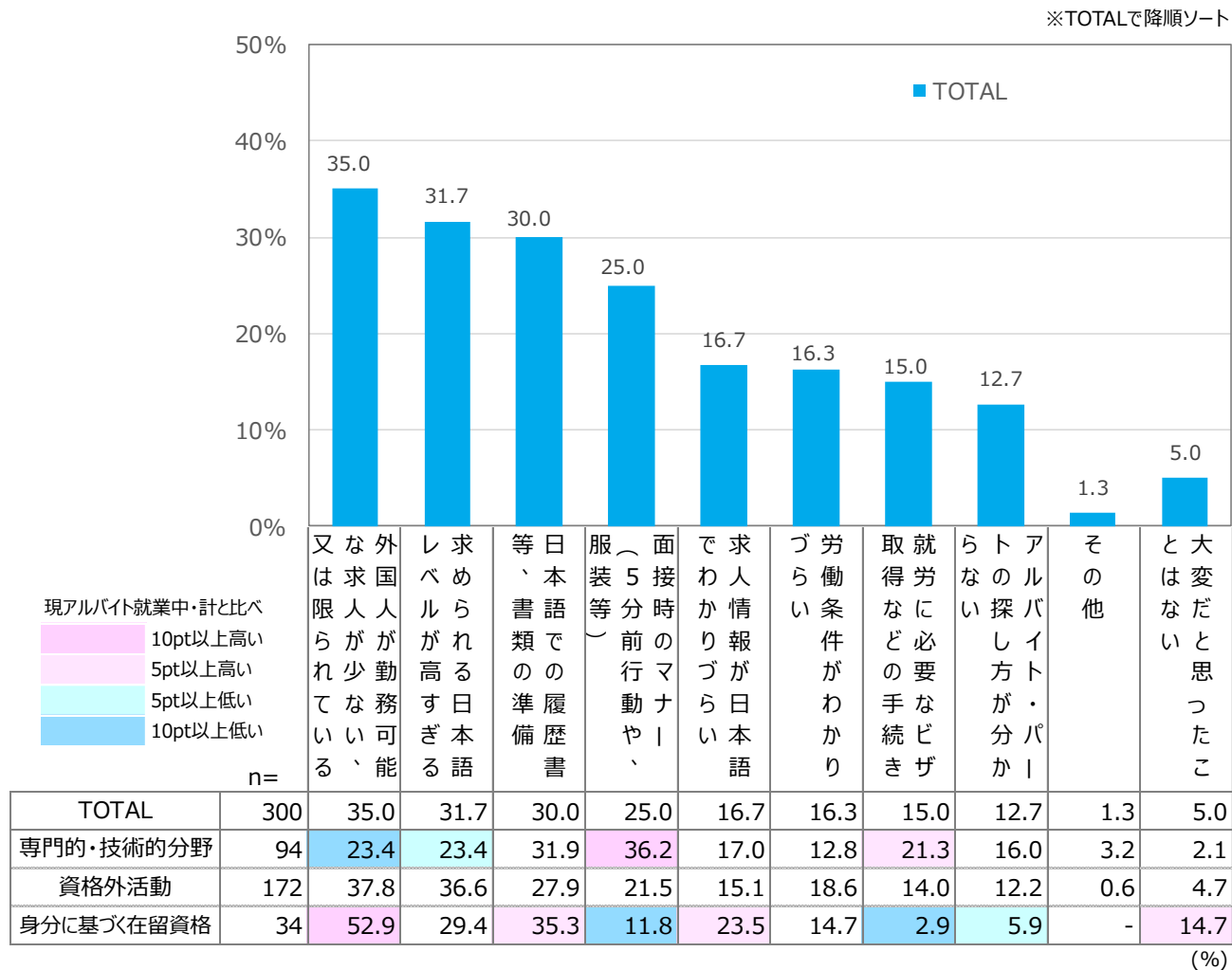
日本でアルバイトをする際に魅力を感じる条件（複数回答） / その中で最も魅力を感じる条件（単一回答）



日本でのアルバイト探しで大変だったこと

- ◆ TOTALでは「外国人が勤務可能な求人が少ない/又は限られている」が最も高く35.0%、「求められる日本語レベルが高すぎる」が31.7%、「日本語での履歴書等、書類の準備」が30.0%と続く
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「面接時のマナー」がTOTALより10pt以上高い

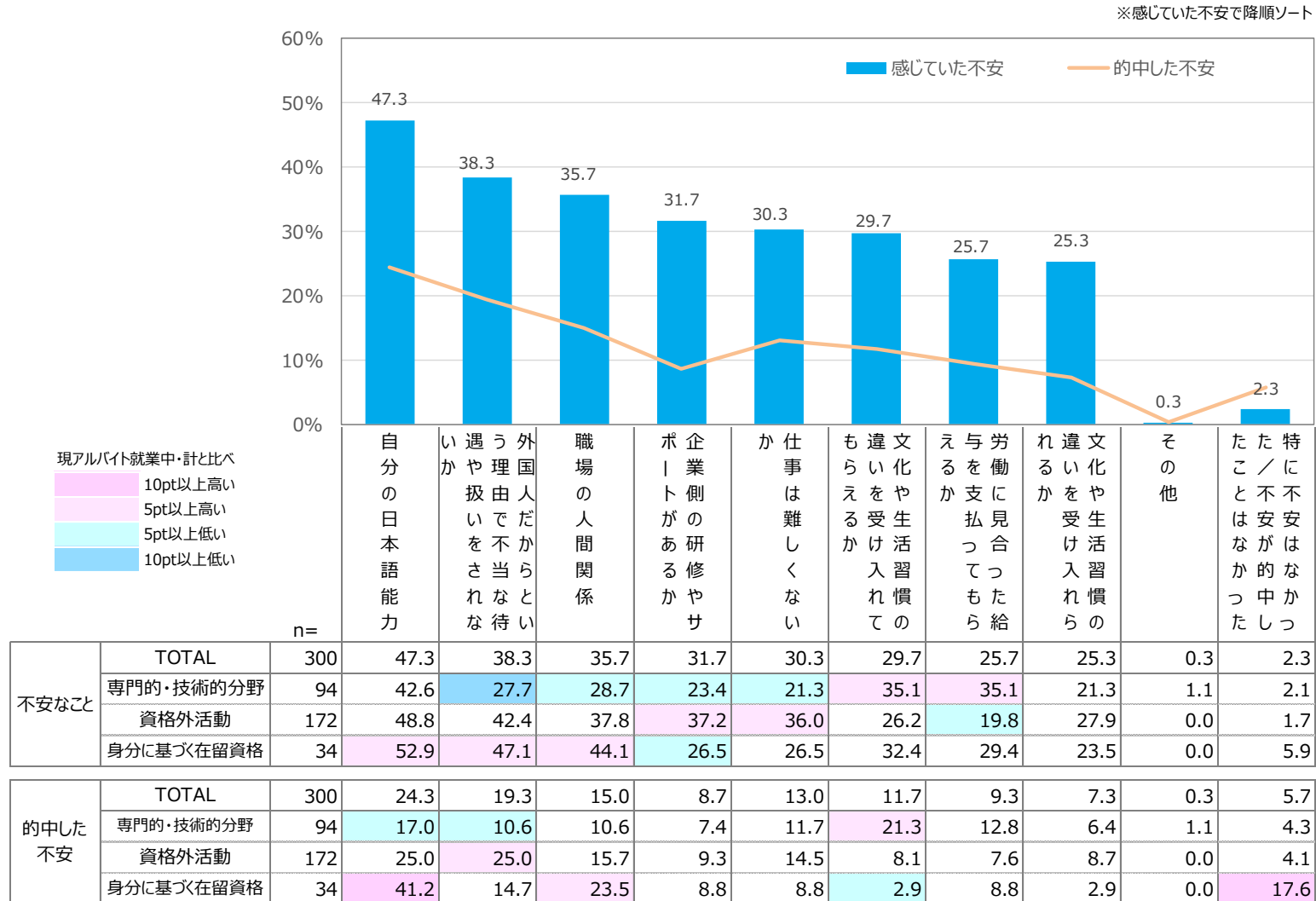
日本でアルバイトを探す際に大変だったこと（複数回答）



アルバイトを始める際の不安要素

◆ “不安なこと”についてTOTALでは「自分の日本語能力」が47.3%と最も高く、次いで「外国人だからという理由で不当な待遇や扱いをされないか」が38.3%、「職場の人間関係」が35.7%と続く

日本で新しくアルバイトを始める際に感じた不安（複数回答）/その中での的中した不安（複数回答）



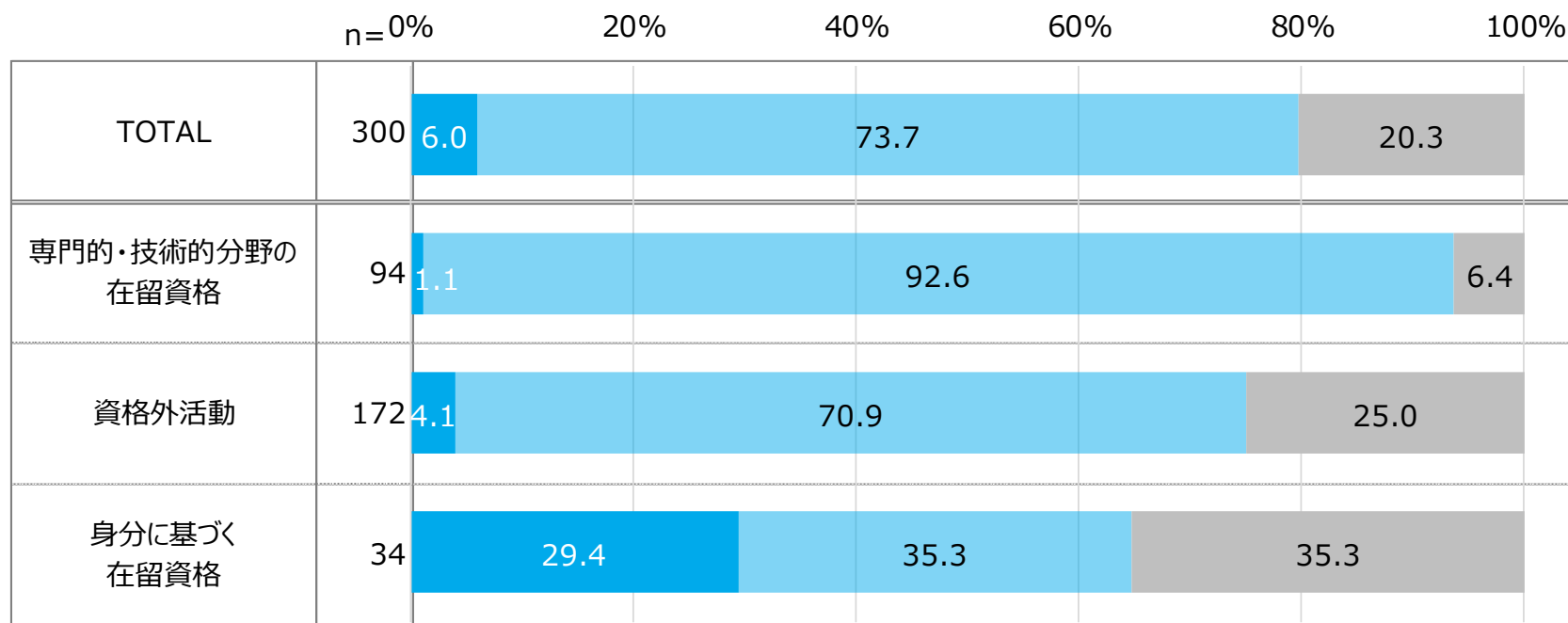
(%)

[データ編] 2 - 5
その他

オリンピック関連のアルバイト実施状況と意向

- ◆ TOTALでは「すでにオリンピックに関わるアルバイト・パートをしている」割合は6.0%、「今はしていないが、今後やりたい」の割合は73.7%と最も高い
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「今はしていないが今後やりたい」が92.6%とTOTALと比べて高い

オリンピックに関わるアルバイト・パートの実施状況と今後の意向（単一回答）



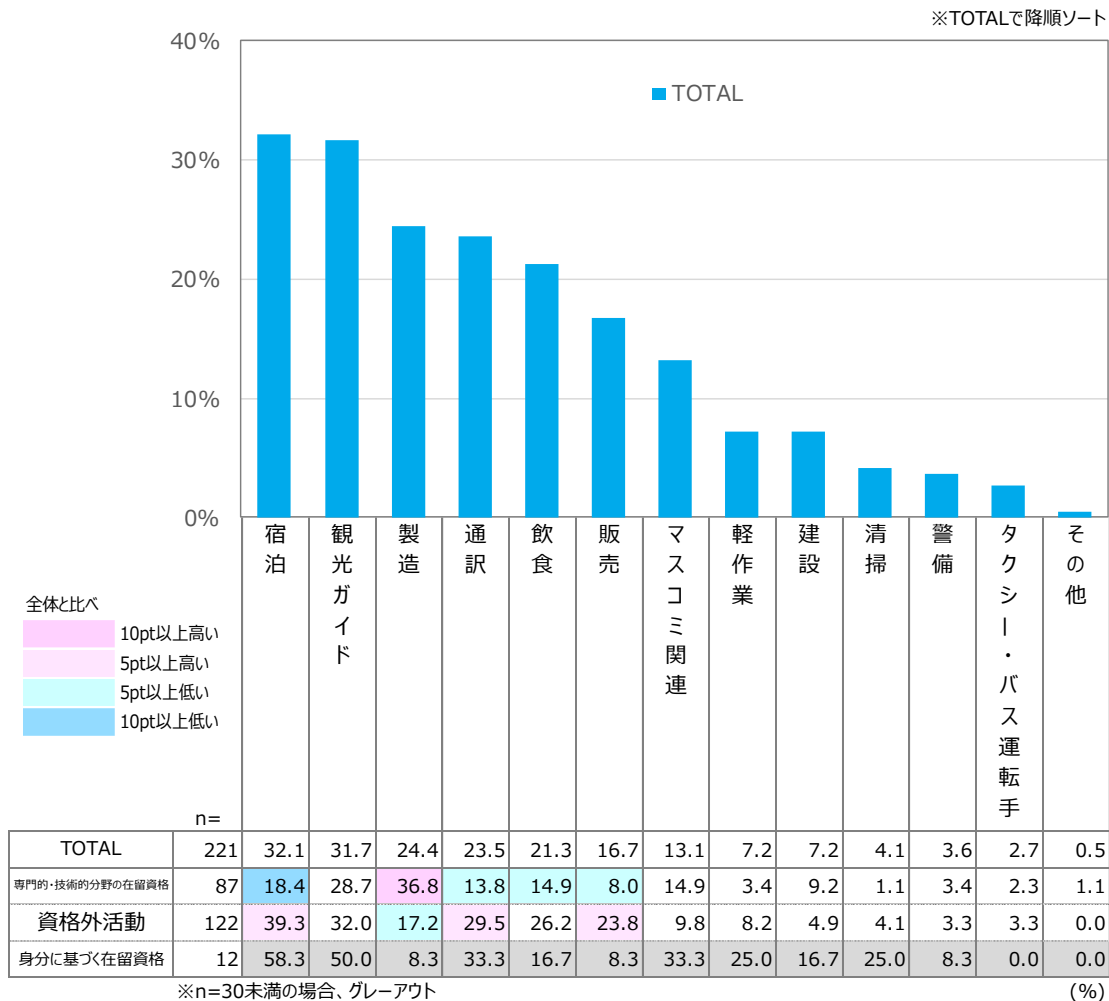
- すでにオリンピックに関わるアルバイト・パートをしている
- 今はしていないが今後やりたいと思っている
- 今もしておらず、今後もやりたいと思わない

オリンピック関連の希望業種

- ◆ TOTALでは「宿泊」が最も高く32.1%、次いで「観光ガイド」が31.7%、「製造」が24.4%となっている
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「製造」が特に高く、【資格外活動】で「宿泊」「通訳」「販売」がやや高い

オリンピックに関わるアルバイト・パートをする際に希望する業種（複数回答）

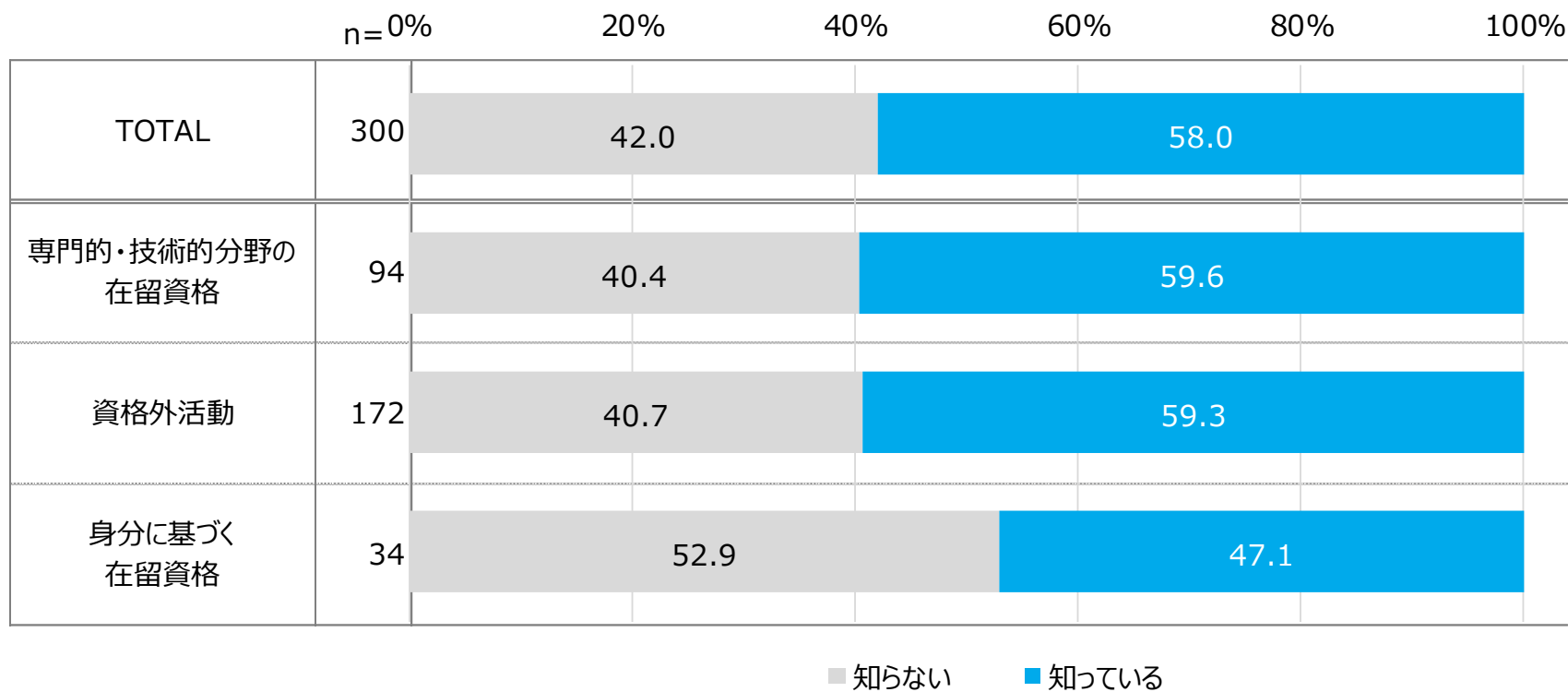
※ベース：現在オリンピックに関わるアルバイト・パートをしていないが、「今後やりたいと思っている」と回答した人



特定技能1号認知

- ◆ TOTALでは58.0%が「知っている」と回答
- ◆ 在留資格別では【身分に基づく在留資格】で「知っている」が47.1%とTOTALと比べて10pt以上低い

特定技能1号の認知状況（単一回答）

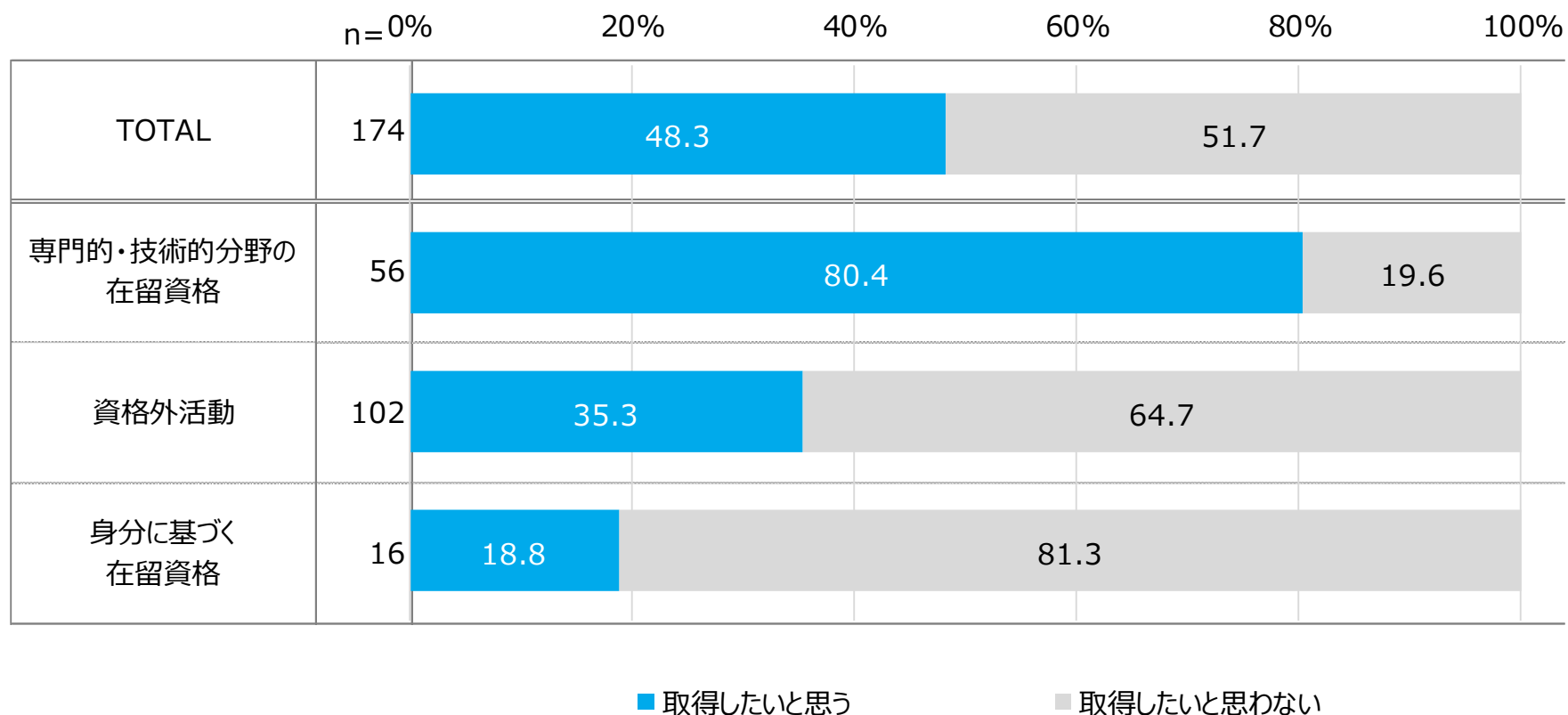


特定技能1号意向

- ◆ TOTALでは48.3%が「取得したいと思う」と回答
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「取得したいと思う」が80.4%と非常に高い
- ◆ 一方、【身分に基づく在留資格】では「取得したいと思う」が18.8%と非常に低い

特定技能1号の意向（単一回答）

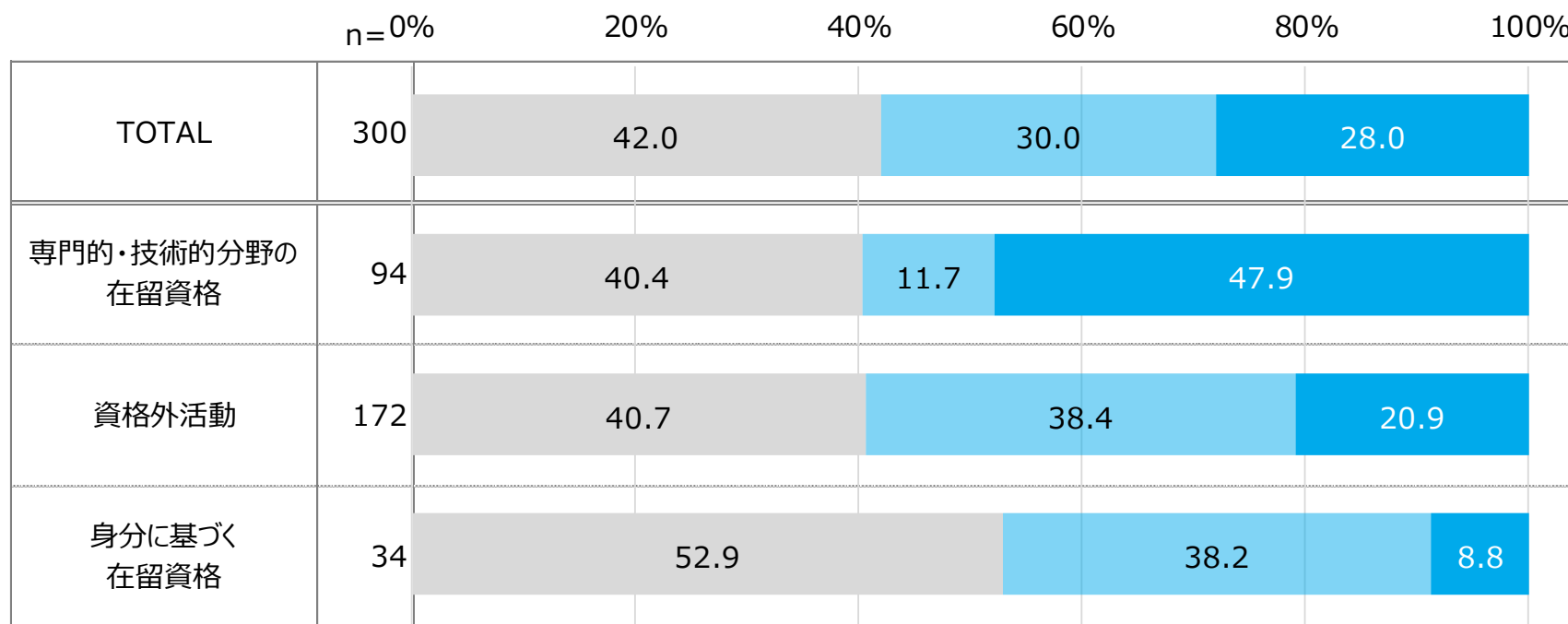
※ベース：特定技能1号認知者



特定技能1号の認知と意向

- ◆ TOTALでは「特定技能1号という在留資格を知らない」が42.0%と最も高く、「知っているが取得したいと思わない」が30.0%、「知っていて取得したいと思う」が28.0%と続く
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で「知っていて取得したいと思う」が47.9%と非常に高い

特定技能1号の認知と意向（単一回答）



- そもそも特定技能という在留資格を知らない
- 知っているが取得したいと思わない
- 知っていて取得したいと思う

特定技能1号を取得しない理由

- ◆ TOTALでは「求められる日本語レベルが高いから」が最も高く57.1%、次いで「手続きが複雑だから」が48.8%、「業種が限られているから」が40.5%と続く
- ◆ 在留資格別では【専門的・技術的分野の在留資格】で上位3項目がTOTALと同じだが、スコアはTOTALと比べてそれぞれ5pt以上高くなっている

特定技能1号を取得したいが、していない理由（複数回答）

※ベース：特定技能1号を知っていて、取得したいと思う

